

「第1次総社市総合計画 後期基本計画」

策定に関する

市民アンケート調査結果報告書

目 次

	調査の概要	4
	1. 調査の目的	5
	2. 調査の方法及び回収率	5
	3. 結果概要に関する留意点	5
	アンケート結果概要【一般用】	6
	1. 回答者の属性	7
	(1) 性別	7
	(2) 年齢	7
	(3) 職業	8
	(4) 通勤・通学先	9
	(5) 家族構成	10
	(6) 居住地区	11
	(7) 居住年数	11
	2. 総社市への愛着について	13
	3. 総社市の住みよさの評価	14
	4. 総社市への定住思考について	15
	5. 総社市が進めている主な事業について	16
	6. 生活環境や行政サービスの満足度について	17
	7. 生活環境や行政サービスの今後の重要度について	20
	8. 満足度と重要度の相関	23
	9. 地区別の施策の満足度・重要度分析結果の総括	28
	(1) 満足度	28
	①分野別満足度の比較	28
	②項目別満足度の比較	28
	(2) 重要度	29
	①分野別重要度の比較	29
	②項目別重要度の比較	29
	(3) 改善度	30
	①分野別改善度の比較	30
	②項目別改善度の比較	30
	アンケート結果概要【中学生用】	31
	1. 回答者の属性	32
	(1) 中学校別回答者数	32
	(2) 性別	32
	(3) 居住地	33

2. 総社市のことについて	34
(1) 総社市が好きか	34
(2) 総社市の住みよさ	34
(3) 居留意向	35
(4) 総社市の自慢できるもの	35
3. 日常の暮らしの満足度	35
4. 「子ども条例」の認知度	36
5. 優先的に整備・増設してほしい施設	36
アンケート結果概要【高校生用】	37
1. 回答者の属性	38
(1) 高校別回答者数	38
(2) 性別	38
(3) 居住地	39
2. 総社市のことについて	40
(1) 総社市が好きか	40
(2) 総社市の住みよさ	41
(3) 居留意向	41
(4) 総社市の自慢できるもの	42
3. 日常の暮らしの満足度	42
4. 総社市の将来都市像	43
5. 優先的に整備・増設してほしい施設	43
アンケート結果概要【県立大学生用】	44
1. 回答者の属性	45
(1) 性別	45
(2) 年齢	45
(3) 出身地	46
(4) 住まい	47
2. 総社市について	48
(1) 総社市への愛着	48
(2) 総社市の住みよさ	48
(3) 定留意向	48
3. 市政について	48
(1) 市政への関心	48
(2) 総社市の将来都市像	48
(3) 市政への市民の意見の反映	48
4. 総社市が進めている主な事業について	48
5. 生活環境や行政サービスの満足度・重要度について	49

(1) 生活環境や行政サービスの満足度について	49
(2) 生活環境や行政サービスの今後の重要度について	49
(3) 重点強化施策	49

| 調査の概要

1. 調査の目的

本アンケート調査は、「第1次総社市総合計画後期期本計画」（平成23年度～27年度）策定に当たり、市民やこれからの総社市を担う中高校生が、市の現状に対しどのような意識を持ち、どう評価しているか。また、まちの将来に対し何を望み、どういう認識を持っているのか。これらを年齢階層別、地区別、性別といった視点で把握、分析し、総合計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の方法及び回収率

	一般用	中学生用	高校生用	県立大学生用
調査対象者	平成22年1月1日現在 本市に住民票を有する18歳以上の市民	市内4中学校の2年生	総社高校, 総社南高校の2年生	岡山県立大学生
調査数	3,000人	608人	553人	—
調査方法	個別配布, 郵送回収	各学校において実施		学友会の協力により実施
調査期間	平成22年1月～3月(配布・回収・集計・分析)			
調査票回収数	1,415	566	503	26
回収率	47.2%	93.1%	91.0%	—

3. 結果概要に関する留意点

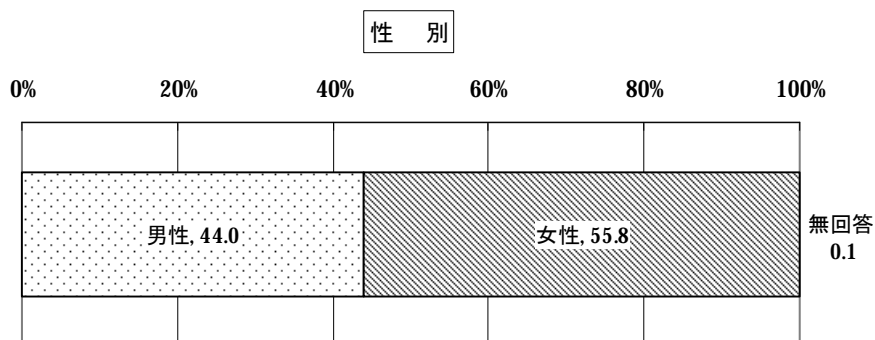
- 比率はすべてパーセントで示し、小数点第2位で四捨五入しているため、パーセントの合計が100.0%にならない場合もあります。
- 母数となるべき実数は回答者数として示しています。複数回答が可能な設問についても、比率算出の母数は回答者数とし、それぞれの選択肢の比率を算出しています。そのため、複数回答が可能な設問は、回答総数が回答者数を上回り、パーセントの合計は100.0%を超えています。
- 無回答は「回答していないもの」を表します。
- グラフ・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合があります。

|| アンケート結果概要【一般用】

1. 回答者の属性

(1) 性別

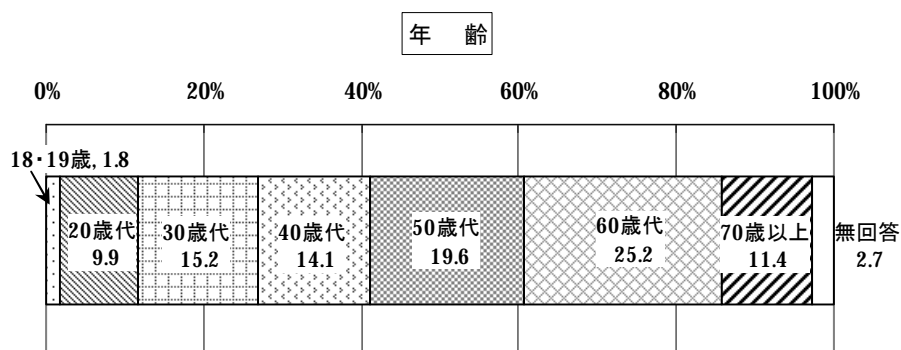
回答者の性別は、「男性」44.0%、「女性」55.8%となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた 構成比(%)
男性	623	44.0	44.1
女性	790	55.8	55.9
無回答	2	0.1	
合計	1,415	100.0	1,413

(2) 年齢

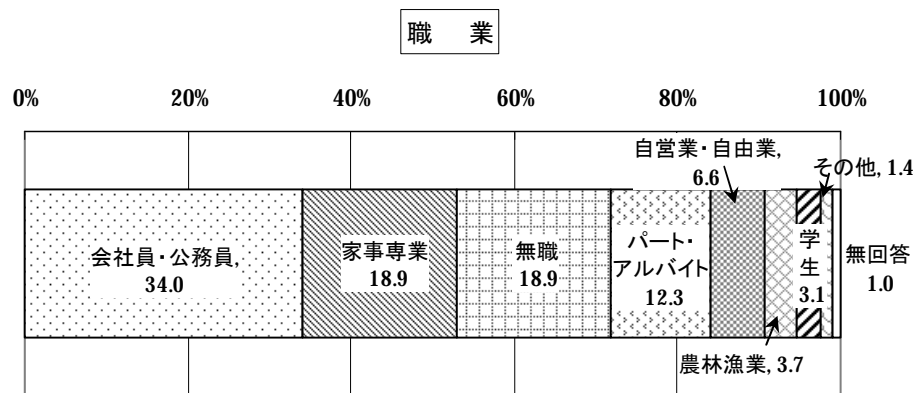
回答者の年齢は、「60歳代」が25.2%を占め最も多く、次いで「50歳代」、「30歳代」の順となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた 構成比(%)
18・19 歳	26	1.8	1.9
20 歳代	140	9.9	10.2
30 歳代	215	15.2	15.6
40 歳代	200	14.1	14.5
50 歳代	277	19.6	20.1
60 歳代	357	25.2	25.9
70 歳以上	162	11.4	11.8
無回答	38	2.7	
合計	1,415	100.0	1,377

(3) 職業

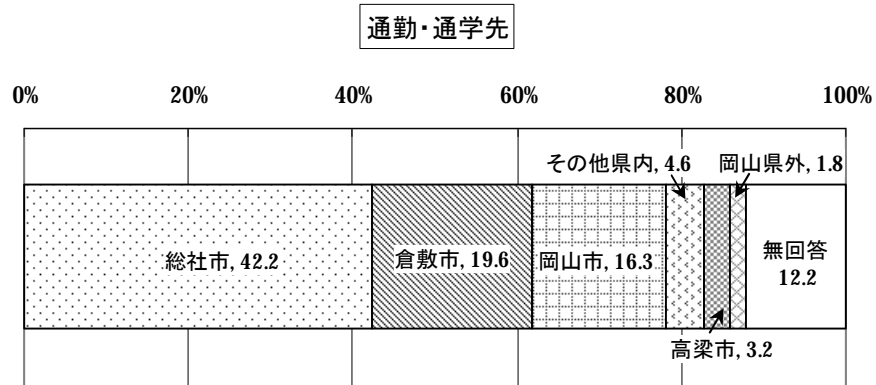
回答者の職業は、「会社員・公務員」が 34.0%を占め最も多く、次いで「家事専業」と「無職」（同率）となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた 構成比(%)
会社員・公務員	481	34.0	34.3
家事専業	268	18.9	19.1
無職	268	18.9	19.1
パート・アルバイト	174	12.3	12.4
自営業・自由業	93	6.6	6.6
農林漁業	53	3.7	3.8
学生	44	3.1	3.1
その他	20	1.4	1.4
無回答	14	1.0	
合計	1,415	100.0	1,401

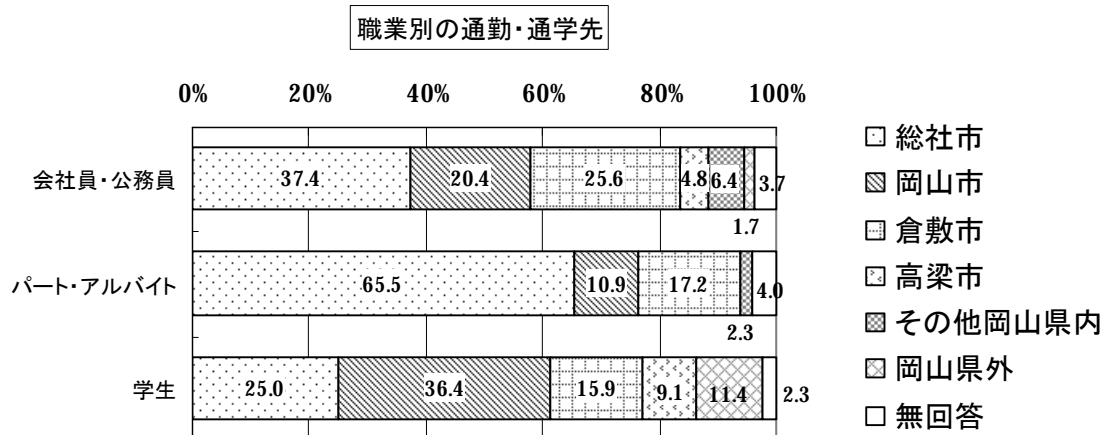
(4) 通勤・通学先

通勤・通学先は、「総社市」が42.2%を占め最も多く、次いで「倉敷市」、「岡山市」の順となっています。



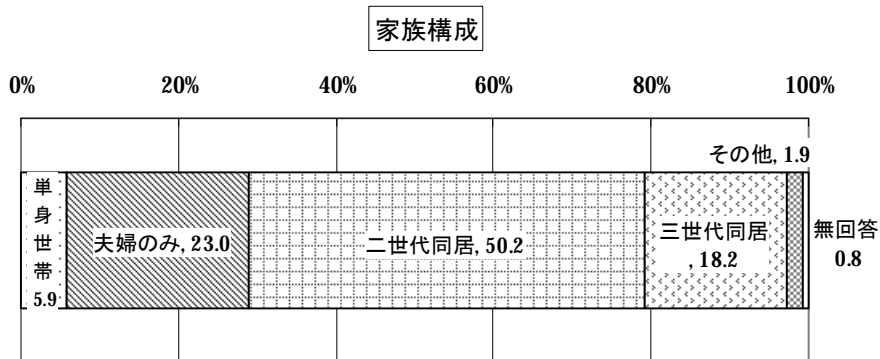
回答項目	回答数	構成比 (%)	無回答を除いた構成比 (%)
総社市	366	42.2	48.1
倉敷市	170	19.6	22.3
岡山市	141	16.3	18.5
その他岡山県内	40	4.6	5.3
高梁市	28	3.2	3.7
岡山県外	16	1.8	2.1
無回答	106	12.2	
合計	867	100.0	761

職業別の通勤・通学先をみると、“会社員・公務員”は、「総社市」が37.4%を占め最も多いものの、「岡山市」、「倉敷市」もそれぞれ20%台を占めています。また、“学生”は、「岡山市」が36.4%を占め最も多くなっています。



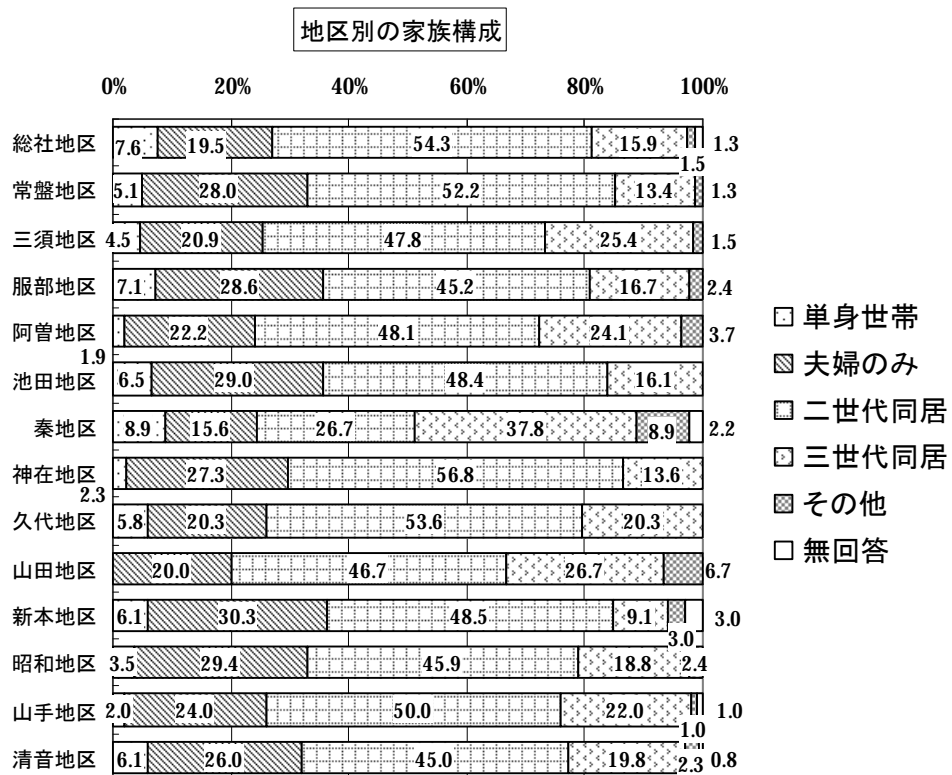
(5) 家族構成

家族構成は、「二世世代同居（親と子）」が50.2%と半数を占めています。次いで「夫婦のみ」、「三世世代同居（親と子と孫）」の順となっています。



回答項目	回答数	構成比 (%)	無回答を除いた構成比 (%)
単身世帯(ひとり暮らし)	83	5.9	5.9
夫婦のみ	326	23.0	23.2
二世世代同居(親と子)	710	50.2	50.6
三世世代同居(親と子と孫)	258	18.2	18.4
その他	27	1.9	1.9
無回答	11	0.8	
合計	1,415	100.0	1,404

また、地区別の家族構成をみると、“秦地区”のみ「三世世代同居」が最も多く、他の地区はすべて「二世世代同居」が最も高い割合を示しています。



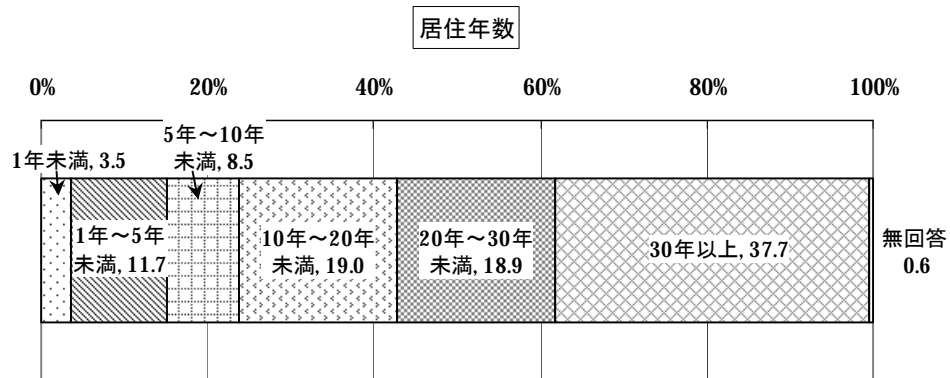
(6) 居住地区

回答者の居住地区は、下表に示すとおりです。

回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた 構成比(%)
総社地区	529	37.4	37.7
常盤地区	157	11.1	11.2
清音地区	131	9.3	9.3
山手地区	100	7.1	7.1
昭和地区	85	6.0	6.1
久代地区	69	4.9	4.9
三須地区	67	4.7	4.8
阿曾地区	54	3.8	3.9
秦地区	45	3.2	3.2
神在地区	44	3.1	3.1
服部地区	42	3.0	3.0
新本地区	33	2.3	2.4
池田地区	31	2.2	2.2
山田地区	15	1.1	1.1
無回答	13	0.9	
合計	1,415	100.0	1,402

(7) 居住年数

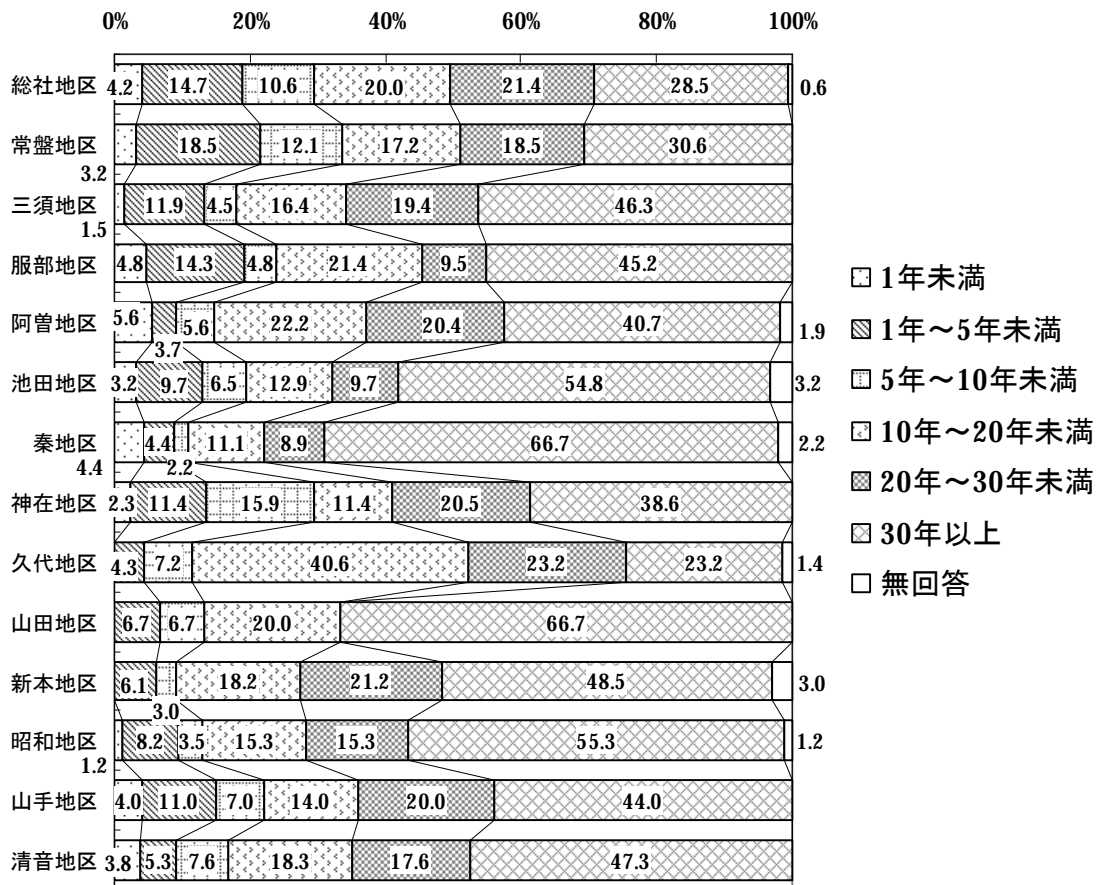
居住年数は、「30年以上」が37.7%を占め最も多く、次いで「10～20年未満」、
「20年～30年未満」の順となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた 構成比(%)
1年未満	50	3.5	3.6
1年～5年未満	166	11.7	11.8
5年～10年未満	120	8.5	8.5
10年～20年未満	269	19.0	19.1
20年～30年未満	267	18.9	19.0
30年以上	534	37.7	38.0
無回答	9	0.6	
合計	1,415	100.0	1,406

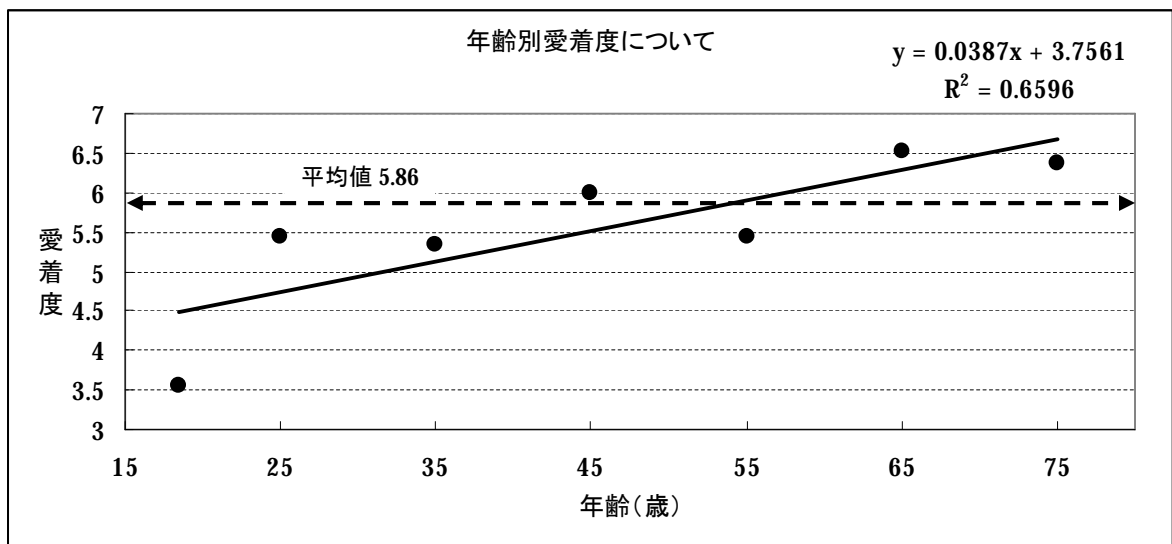
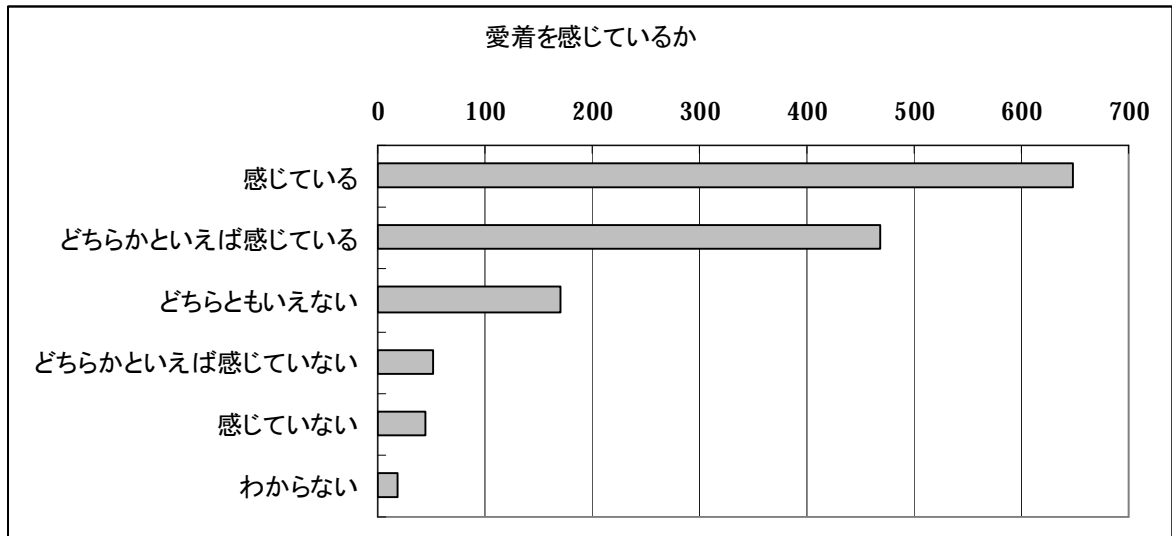
また、地区別の居住年数をみると、“総社地区”、“常盤地区”、“久代地区”は、他地区に比べて「30年以上」の割合が低くなっています。“総社地区”と“常盤地区”は「1年～5年未満」の割合が他地区よりも高く、“久代地区”は「10年～20年未満」の割合が全地区の中で最も高くなっています。

地区別の居住年数



2. 総社市への愛着について

総社市への愛着に関する回答結果は、以下のようになっています。



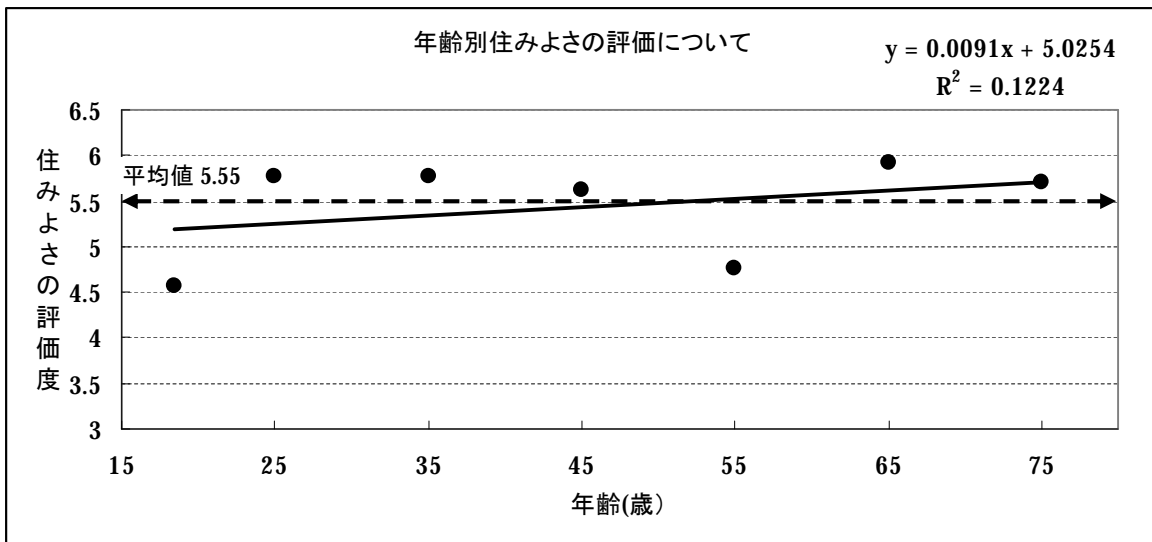
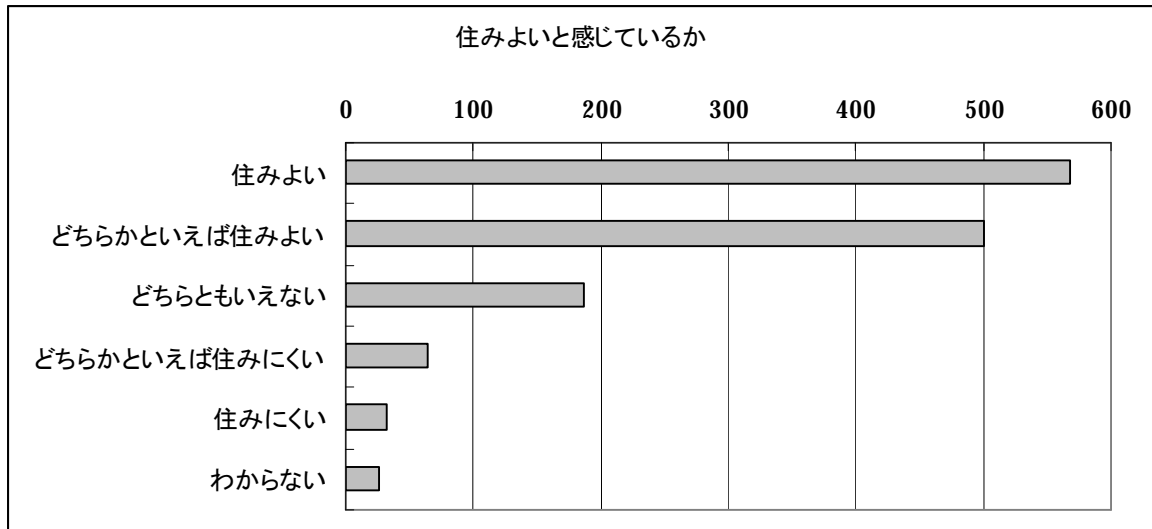
愛着度は、「感じている」を+10、「どちらかといえば感じている」を+5、「どちらともいえない」±0、「どちらかといえば感じていない」-5、「感じていない」-10、として、回答数に加し加重平均をとった値

総社市への愛着については、「愛着を感じている」との回答が多く愛着度の平均も 5.86 と高い値を占めています。

愛着度を年齢別にみると、年齢が増加するにつれて愛着度が増す傾向がうかがえます。

3. 総社市の住みよさの評価

総社市住みよさに関する回答及びその評価結果は、以下のようになっています。



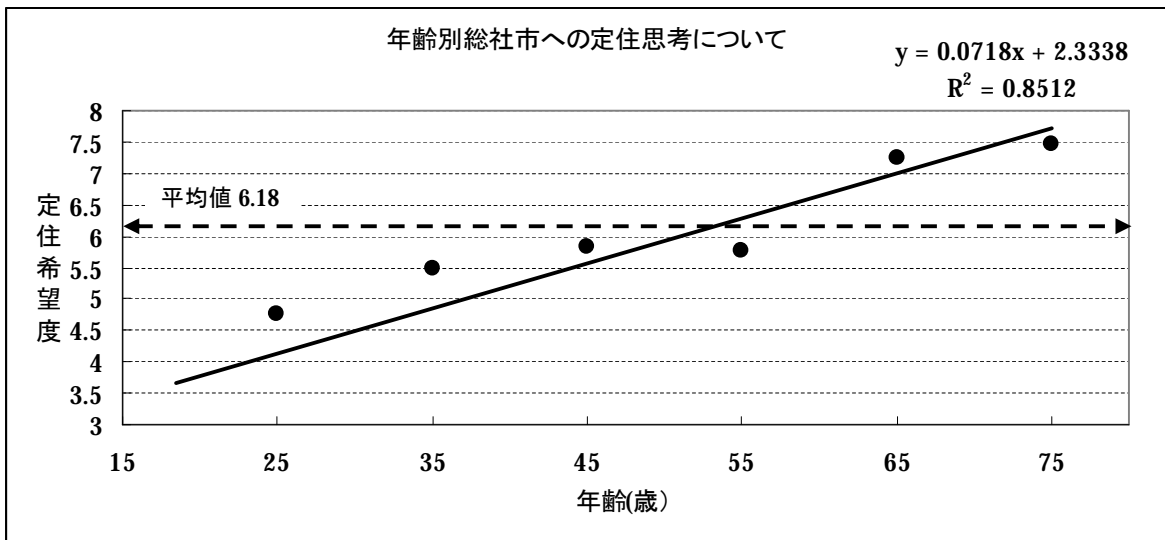
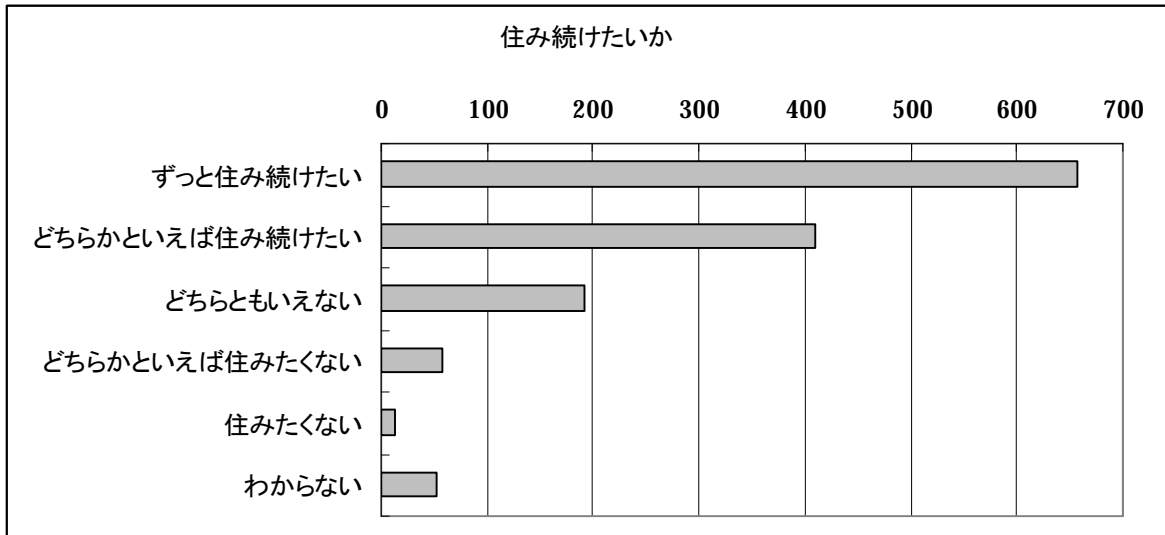
住みよさの評価度は、「住みよい」を+10、「どちらかといえば住みよい」を+5、「どちらともいえない」±0、「どちらかといえば住みにくい」-5、「住みにくい」-10、として、回答数に加点し加重平均をとった値

総社市への住みよさの評価については、「住みよい」、「どちらかといえば住みよい」との回答が多く住みよさの評価度の平均も 5.55 と高い値を占めています。

住みよさの評価の年齢別傾向は、年齢とは関係なく住みよいとの評価となっています。

4. 総社市への定住思考について

総社市への定住思考に関する回答及びその評価結果は、以下のようになっています。



住み続けたいかへの定住希望度は、「ずっと住み続けたい」を+10、「どちらかといえば住み続けたい」を+5、「どちらともいえない」±0、「どちらかといえば住みたくない」-5、「住みたくない」-10、として、回答数に加点し加重平均をとった値

総社市への定住思考については、「ずっと住み続けたい」が圧倒的に多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」との回答が多く、全体の3/4を占めています。

また定住希望度の平均は6.18と高い値で、年齢が増すに連れて定住思考が高くなる分布で、年齢に比例して高くなる傾向となっています。

5. 総社市が進めている主な事業について

総社市が進めている主な事業についての認知度や満足度、利用意向等については、以下に示すとおりです。

●子育て王国そうじゃ

知っている人は41%、聞いたことがある人は37%となっており、認知度がやや低いことから、さらなる広報・周知が求められます。満足度については、“わからない”という回答が最も多いものの、満足と不満の割合では、満足のほうが上回っています。

●夜間急病診療

知っている人は42%、聞いたことがある人は32%となっており、認知度がやや低いことから、さらなる広報・周知が求められます。利用意向については、“利用しない”が26%、“わからない”が32%を占め、利用意向はやや低い傾向にあります。

●救急安心カード

所有している人は全体の38%であり、そのうちカードに記入している人は57%となっており、さらなる周知や啓発が求められます。

●住宅用火災警報器

設置している世帯が26%、一部設置している家が6%にとどまっていることから、さらなる啓発普及が求められます。

事業	設問	回答結果
子育て王国 そうじゃ	認知度	よく知っている:7.3%、ある程度知っている:34.1%、聞いたことがある:36.5%、まったく知らない:15.6%、わからない:5.4%
	満足度	満足:10.6%、やや満足:33.9%、やや不満:13.2%、不満:4.7%、わからない:35.3%
夜間急病診療	認知度	よく知っている:9.0%、ある程度知っている:32.5%、聞いたことがある:31.9%、まったく知らない:23.0%、わからない:3.0%
	利用意向	利用する:39.1%、利用しない:25.9%、わからない:32.2%
救急安心カード	所有状況	ある:37.5%、ない:33.8%、わからない:27.9%
	記入状況	記入している:56.8%、記入していない:42.6%
住宅用火災 警報器	設置状況	設置している:25.5%、一部設置している:6.3%、設置していない:64.9%

6. 生活環境や行政サービスの満足度について

「健康・医療・福祉」分野や「教育・文化・スポーツ」分野、「産業」分野等の各施策項目に関する満足度の回答結果は、以下のようになっています。

	上段・実数 下段:%	満足	まあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
1 健康・医療・福祉	保健・医療	53 (3.7)	525 (37.1)	423 (29.9)	243 (17.2)	133 (9.4)	38 (2.7)	1,415 (100.0)
	地域福祉	30 (2.1)	324 (22.9)	783 (55.3)	163 (11.5)	47 (3.3)	68 (4.8)	1,415 (100.0)
	高齢者福祉	24 (1.7)	251 (17.7)	742 (52.4)	244 (17.2)	106 (7.5)	48 (3.4)	1,415 (100.0)
	障がい者福祉	24 (1.7)	151 (10.7)	898 (63.5)	198 (14.0)	72 (5.1)	72 (5.1)	1,415 (100.0)
	子育て支援	43 (3.0)	392 (27.7)	688 (48.6)	162 (11.4)	53 (3.7)	77 (5.4)	1,415 (100.0)
	社会保障	33 (2.3)	262 (18.5)	813 (57.5)	156 (11.0)	77 (5.4)	74 (5.2)	1,415 (100.0)
2 教育・文化・スポーツ	生涯学習	42 (3.0)	364 (25.7)	785 (55.5)	131 (9.3)	31 (2.2)	62 (4.4)	1,415 (100.0)
	学校教育・幼児教育	37 (2.6)	369 (26.1)	719 (50.8)	157 (11.1)	40 (2.8)	93 (6.6)	1,415 (100.0)
	青少年の健全育成	21 (1.5)	229 (16.2)	933 (65.9)	125 (8.8)	25 (1.8)	82 (5.8)	1,415 (100.0)
	スポーツ・レクリエーション	66 (4.7)	436 (30.8)	702 (49.6)	104 (7.3)	35 (2.5)	72 (5.1)	1,415 (100.0)
	芸術・文化	37 (2.6)	307 (21.7)	800 (56.5)	141 (10.0)	58 (4.1)	72 (5.1)	1,415 (100.0)
	文化財	50 (3.5)	376 (26.6)	716 (50.6)	162 (11.4)	50 (3.5)	61 (4.3)	1,415 (100.0)
	人権意識	40 (2.8)	240 (17.0)	918 (64.9)	119 (8.4)	32 (2.3)	66 (4.7)	1,415 (100.0)
3 快適環境	自然環境・歴史的景観	99 (7.0)	622 (44.0)	480 (33.9)	115 (8.1)	41 (2.9)	58 (4.1)	1,415 (100.0)
	住宅	63 (4.5)	350 (24.7)	764 (54.0)	99 (7.0)	44 (3.1)	95 (6.7)	1,415 (100.0)
	上水道・水資源	221 (15.6)	684 (48.3)	319 (22.5)	97 (6.9)	32 (2.3)	62 (4.4)	1,415 (100.0)
	下水道	205 (14.5)	490 (34.6)	356 (25.2)	172 (12.2)	138 (9.8)	54 (3.8)	1,415 (100.0)
	公園・緑地	86 (6.1)	436 (30.8)	556 (39.3)	202 (14.3)	72 (5.1)	63 (4.5)	1,415 (100.0)
	資源循環型社会	91 (6.4)	514 (36.3)	518 (36.6)	161 (11.4)	71 (5.0)	60 (4.2)	1,415 (100.0)
	環境保全	40 (2.8)	364 (25.7)	760 (53.7)	143 (10.1)	36 (2.5)	72 (5.1)	1,415 (100.0)
4 都市基盤、安全・安心	土地利用・市街地整備	30 (2.1)	267 (18.9)	770 (54.4)	193 (13.6)	78 (5.5)	77 (5.4)	1,415 (100.0)
	道路・交通網	58 (4.1)	374 (26.4)	506 (35.8)	285 (20.1)	119 (8.4)	73 (5.2)	1,415 (100.0)
	情報通信	77 (5.4)	369 (26.1)	668 (47.2)	161 (11.4)	73 (5.2)	67 (4.7)	1,415 (100.0)
	治山・治水・砂防	47 (3.3)	338 (23.9)	806 (57.0)	119 (8.4)	39 (2.8)	66 (4.7)	1,415 (100.0)
	消防・防災など	66 (4.7)	494 (34.9)	666 (47.1)	93 (6.6)	27 (1.9)	69 (4.9)	1,415 (100.0)
	防犯・交通安全	46 (3.3)	370 (26.1)	710 (50.2)	166 (11.7)	59 (4.2)	64 (4.5)	1,415 (100.0)
	辺地対策	26 (1.8)	147 (10.4)	912 (64.5)	187 (13.2)	77 (5.4)	66 (4.7)	1,415 (100.0)

上段・実数 下段：%		満足	まあ満足	どちらとも いけない	やや不満	不満	無回答	合計
5 産 業	農林業	33 (2.3)	325 (23.0)	823 (58.2)	115 (8.1)	38 (2.7)	81 (5.7)	1,415 (100.0)
	商業	12 (0.8)	145 (10.2)	934 (66.0)	161 (11.4)	57 (4.0)	106 (7.5)	1,415 (100.0)
	工業	15 (1.1)	198 (14.0)	896 (63.3)	155 (11.0)	46 (3.3)	105 (7.4)	1,415 (100.0)
	観光	24 (1.7)	243 (17.2)	759 (53.6)	243 (17.2)	59 (4.2)	87 (6.1)	1,415 (100.0)
	勤労者福祉・雇用対策	12 (0.8)	108 (7.6)	828 (58.5)	280 (19.8)	90 (6.4)	97 (6.9)	1,415 (100.0)
	消費者対策	15 (1.1)	150 (10.6)	958 (67.7)	148 (10.5)	47 (3.3)	97 (6.9)	1,415 (100.0)
	6 市民 参画	市民のまちづくり意識	15 (1.1)	190 (13.4)	982 (69.4)	111 (7.8)	31 (2.2)	86 (6.1)
地域コミュニティ		26 (1.8)	270 (19.1)	876 (61.9)	116 (8.2)	29 (2.0)	98 (6.9)	1,415 (100.0)
ボランティア		24 (1.7)	199 (14.1)	954 (67.4)	110 (7.8)	40 (2.8)	88 (6.2)	1,415 (100.0)
男女共同参画社会		27 (1.9)	154 (10.9)	1055 (74.6)	66 (4.7)	26 (1.8)	87 (6.1)	1,415 (100.0)
ふれあい交流		19 (1.3)	162 (11.4)	1052 (74.3)	78 (5.5)	19 (1.3)	85 (6.0)	1,415 (100.0)
岡山県立大学との交流		27 (1.9)	189 (13.4)	1020 (72.1)	76 (5.4)	19 (1.3)	84 (5.9)	1,415 (100.0)
7 行 財政	市民参加の推進	50 (3.5)	294 (20.8)	818 (57.8)	132 (9.3)	43 (3.0)	78 (5.5)	1,415 (100.0)
	行政改革の推進	32 (2.3)	189 (13.4)	820 (58.0)	201 (14.2)	91 (6.4)	82 (5.8)	1,415 (100.0)
	自立した財政運営の推進	21 (1.5)	133 (9.4)	911 (64.4)	183 (12.9)	72 (5.1)	95 (6.7)	1,415 (100.0)
	広域連携の推進	19 (1.3)	143 (10.1)	986 (69.7)	132 (9.3)	42 (3.0)	93 (6.6)	1,415 (100.0)

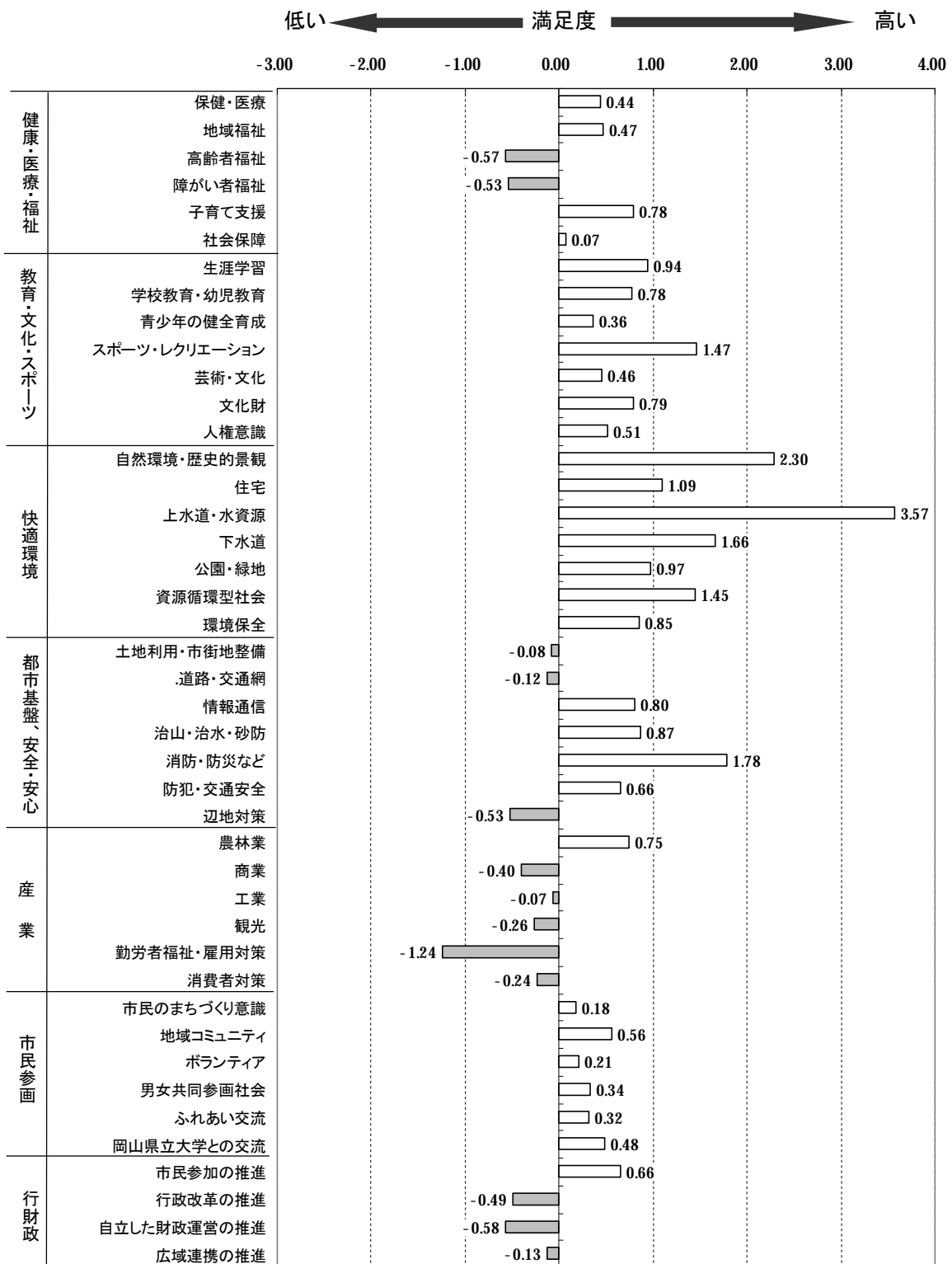
満足度の指標化

◆「満足度」の指標化について

上記の回答結果をもとに、各項目の満足度について設問間の差や全体の水準を図るため、重みづけを行い指標化しました。重みづけの評点については、以下の方法で計算しています。

・「満足」の回答数	×	10点	} 合計 / 「無回答」を除く回答数
・「まあ満足」の回答数	×	5点	
・「どちらともいけない」の回答数	×	0点	
・「やや不満」の回答数	×	-5点	
・「不満」の回答数	×	-10点	

したがって、満足度指数は上限「10」（満足）、下限「-10」（不満）で、中間値は「0」となります。



前ページの計算により、各項目の満足度を算出すると、上のグラフに示すように、最も満足度が高い項目は「上水道・水資源」の3.57点で、次いで「自然環境・歴史的環境」、「消防・防災など」が上位3項目となっています。

一方、最も満足度が低い項目は「勤労者福祉・雇用対策」の-1.24点で、次いで「自立した財政運営の推進」、「高齢者福祉」が下位3項目となっています。

7. 生活環境や行政サービスの今後の重要度について

「健康・医療・福祉」分野や「教育・文化・スポーツ」分野、「産業」分野等の各施策項目に関する今後の重要度の回答結果は、以下のようになっています。

	上段・実数 下段：%	重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 でない	重要でない	無回答	合計
1 健康・医療・福祉	保健・医療	804 (56.8)	382 (27.0)	144 (10.2)	10 (0.7)	4 (0.3)	71 (5.0)	1,415 (100.0)
	地域福祉	504 (35.6)	503 (35.5)	291 (20.6)	9 (0.6)	8 (0.6)	100 (7.1)	1,415 (100.0)
	高齢者福祉	743 (52.5)	395 (27.9)	175 (12.4)	16 (1.1)	5 (0.4)	81 (5.7)	1,415 (100.0)
	障がい者福祉	552 (39.0)	414 (29.3)	332 (23.5)	17 (1.2)	3 (0.2)	97 (6.9)	1,415 (100.0)
	子育て支援	657 (46.4)	391 (27.6)	243 (17.2)	20 (1.4)	9 (0.6)	95 (6.7)	1,415 (100.0)
	社会保障	557 (39.4)	398 (28.1)	344 (24.3)	16 (1.1)	15 (1.1)	85 (6.0)	1,415 (100.0)
2 教育・文化・スポーツ	生涯学習	208 (14.7)	501 (35.4)	553 (39.1)	41 (2.9)	15 (1.1)	97 (6.9)	1,415 (100.0)
	学校教育・幼児教育	522 (36.9)	439 (31.0)	325 (23.0)	13 (0.9)	5 (0.4)	111 (7.8)	1,415 (100.0)
	青少年の健全育成	366 (25.9)	426 (30.1)	476 (33.6)	31 (2.2)	10 (0.7)	106 (7.5)	1,415 (100.0)
	スポーツ・レクリエーション	179 (12.7)	472 (33.4)	560 (39.6)	76 (5.4)	26 (1.8)	102 (7.2)	1,415 (100.0)
	芸術・文化	181 (12.8)	416 (29.4)	625 (44.2)	65 (4.6)	28 (2.0)	100 (7.1)	1,415 (100.0)
	文化財	268 (18.9)	493 (34.8)	497 (35.1)	53 (3.7)	17 (1.2)	87 (6.1)	1,415 (100.0)
	人権意識	324 (22.9)	403 (28.5)	553 (39.1)	31 (2.2)	18 (1.3)	86 (6.1)	1,415 (100.0)
3 快適環境	自然環境・歴史的景観	389 (27.5)	568 (40.1)	332 (23.5)	30 (2.1)	3 (0.2)	93 (6.6)	1,415 (100.0)
	住宅	215 (15.2)	410 (29.0)	583 (41.2)	56 (4.0)	14 (1.0)	137 (9.7)	1,415 (100.0)
	上水道・水資源	562 (39.7)	458 (32.4)	253 (17.9)	23 (1.6)	10 (0.7)	109 (7.7)	1,415 (100.0)
	下水道	575 (40.6)	458 (32.4)	250 (17.7)	19 (1.3)	16 (1.1)	97 (6.9)	1,415 (100.0)
	公園・緑地	266 (18.8)	559 (39.5)	407 (28.8)	58 (4.1)	26 (1.8)	99 (7.0)	1,415 (100.0)
	資源循環型社会	515 (36.4)	535 (37.8)	237 (16.7)	20 (1.4)	8 (0.6)	100 (7.1)	1,415 (100.0)
	環境保全	450 (31.8)	493 (34.8)	354 (25.0)	15 (1.1)	3 (0.2)	100 (7.1)	1,415 (100.0)
4 都市基盤、安全・安心	土地利用・市街地整備	258 (18.2)	474 (33.5)	526 (37.2)	41 (2.9)	13 (0.9)	103 (7.3)	1,415 (100.0)
	道路・交通網	356 (25.2)	523 (37.0)	367 (25.9)	38 (2.7)	24 (1.7)	107 (7.6)	1,415 (100.0)
	情報通信	265 (18.7)	453 (32.0)	518 (36.6)	57 (4.0)	24 (1.7)	98 (6.9)	1,415 (100.0)
	治山・治水・砂防	370 (26.1)	461 (32.6)	442 (31.2)	35 (2.5)	12 (0.8)	95 (6.7)	1,415 (100.0)
	消防・防災など	530 (37.5)	491 (34.7)	296 (20.9)	9 (0.6)	1 (0.1)	88 (6.2)	1,415 (100.0)
	防犯・交通安全	516 (36.5)	506 (35.8)	292 (20.6)	11 (0.8)	5 (0.4)	85 (6.0)	1,415 (100.0)
	辺地対策	296 (20.9)	434 (30.7)	547 (38.7)	36 (2.5)	14 (1.0)	88 (6.2)	1,415 (100.0)

上段・実数 下段：%		重要	やや重要	どちらとも いえない	あまり重要 でない	重要でない	無回答	合計
5 産 業	農林業	341 (24.1)	500 (35.3)	444 (31.4)	12 (0.8)	6 (0.4)	112 (7.9)	1,415 (100.0)
	商業	211 (14.9)	429 (30.3)	601 (42.5)	27 (1.9)	9 (0.6)	138 (9.8)	1,415 (100.0)
	工業	260 (18.4)	460 (32.5)	520 (36.7)	29 (2.0)	10 (0.7)	136 (9.6)	1,415 (100.0)
	観光	284 (20.1)	512 (36.2)	435 (30.7)	47 (3.3)	13 (0.9)	124 (8.8)	1,415 (100.0)
	勤労者福祉・雇用対策	445 (31.4)	498 (35.2)	333 (23.5)	9 (0.6)	6 (0.4)	124 (8.8)	1,415 (100.0)
	消費者対策	293 (20.7)	441 (31.2)	523 (37.0)	30 (2.1)	4 (0.3)	124 (8.8)	1,415 (100.0)
	6 市民 参画	市民のまちづくり意識	159 (11.2)	436 (30.8)	630 (44.5)	57 (4.0)	21 (1.5)	112 (7.9)
地域コミュニティ		181 (12.8)	468 (33.1)	580 (41.0)	49 (3.5)	18 (1.3)	119 (8.4)	1,415 (100.0)
ボランティア		207 (14.6)	441 (31.2)	582 (41.1)	51 (3.6)	18 (1.3)	116 (8.2)	1,415 (100.0)
男女共同参画社会		130 (9.2)	318 (22.5)	751 (53.1)	62 (4.4)	33 (2.3)	121 (8.6)	1,415 (100.0)
ふれあい交流		109 (7.7)	388 (27.4)	707 (50.0)	66 (4.7)	33 (2.3)	112 (7.9)	1,415 (100.0)
岡山県立大学との交流		121 (8.6)	313 (22.1)	724 (51.2)	102 (7.2)	42 (3.0)	113 (8.0)	1,415 (100.0)
7 行 財政		市民参加の推進	316 (22.3)	494 (34.9)	468 (33.1)	20 (1.4)	7 (0.5)	110 (7.8)
	行政改革の推進	415 (29.3)	445 (31.4)	426 (30.1)	11 (0.8)	8 (0.6)	110 (7.8)	1,415 (100.0)
	自立した財政運営の推進	440 (31.1)	392 (27.7)	454 (32.1)	8 (0.6)	3 (0.2)	118 (8.3)	1,415 (100.0)
	広域連携の推進	275 (19.4)	427 (30.2)	567 (40.1)	24 (1.7)	6 (0.4)	116 (8.2)	1,415 (100.0)

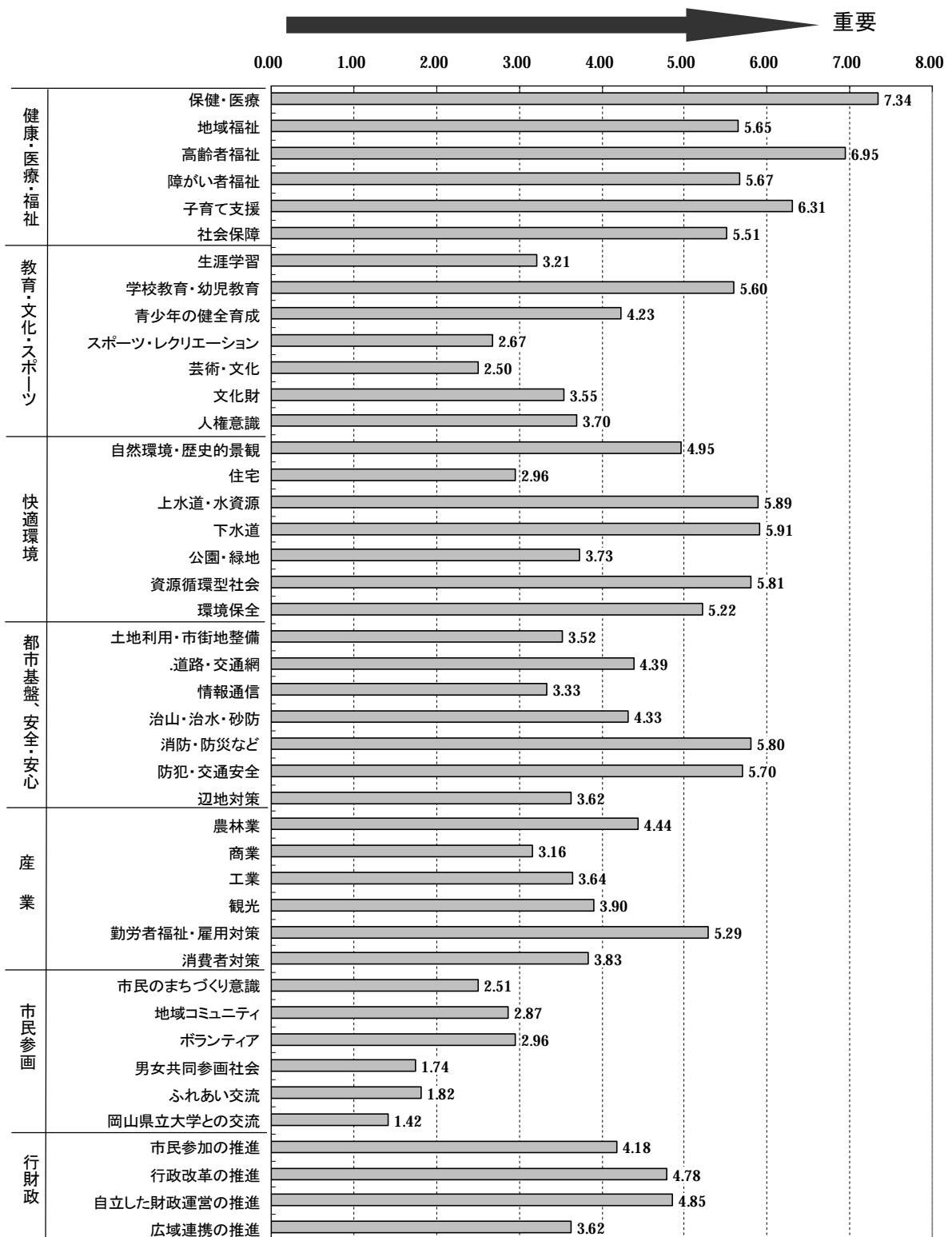
重要度の指標化

◆「重要度」の指標化について

上記の回答結果をもとに、各項目の重要度について設問間の差や全体の水準を図るため、重みづけを行い指標化しました。重みづけの評点については、以下の方法で計算しています。

・「重要」の回答数	×	10点	} 合計 / 「無回答」を除く回答数
・「やや重要」の回答数	×	5点	
・「どちらともいえない」の回答数	×	0点	
・「あまり重要でない」の回答数	×	-5点	
・「重要でない」の回答数	×	-10点	

したがって、重要度指数は上限「10」（重要）、下限「-10」（重要でない）で、中間値は「0」となります。



前ページの計算により、各項目の重要度を算出すると、上のグラフに示すように、最も重要度が高い項目は「保健・医療」の7.34点で、次いで「高齢者福祉」、「子育て支援」が上位3項目となっています。

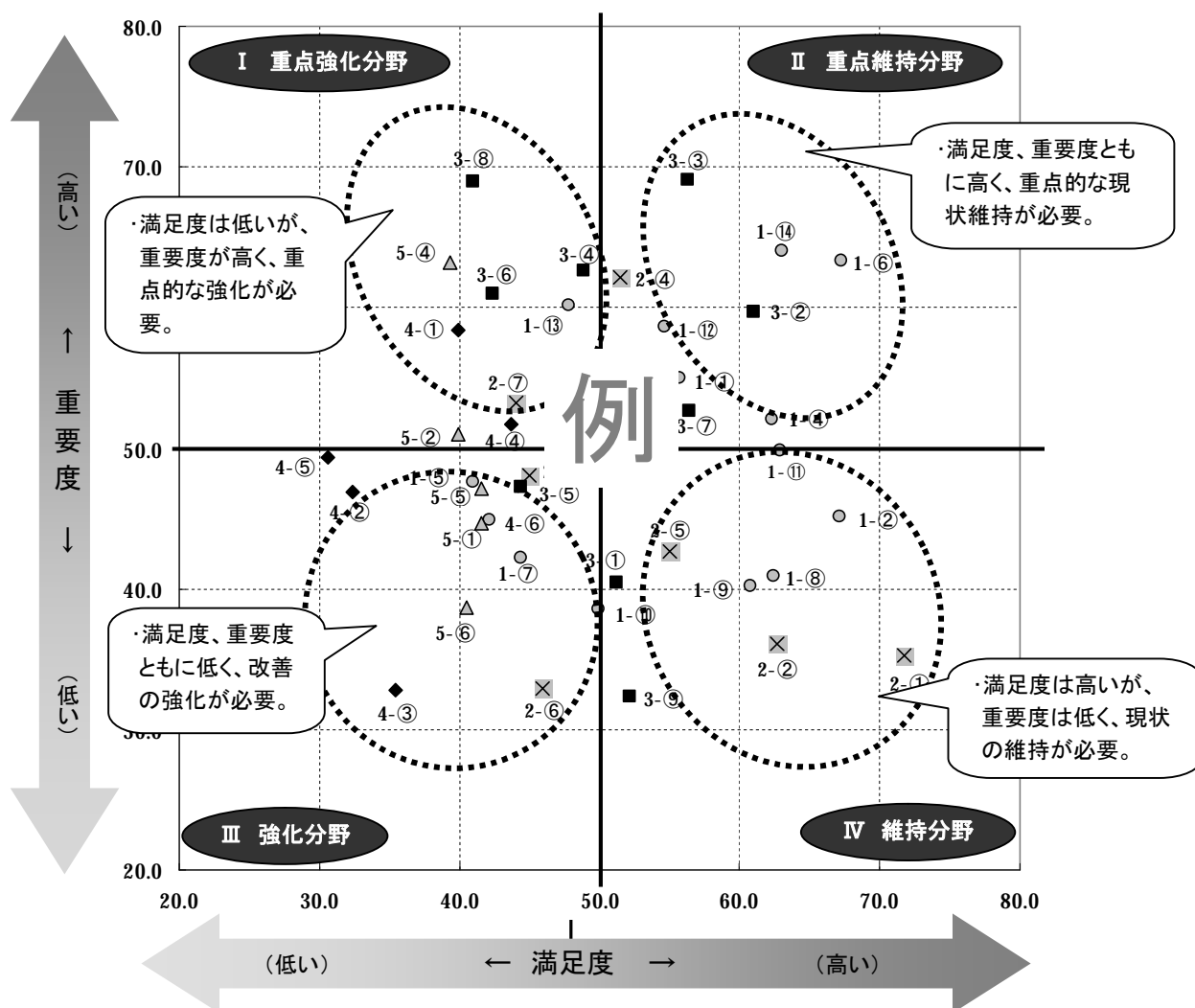
一方、最も重要度が低い項目は「岡山県立大学との交流」の1.42点で、次いで「男女共同参画社会」、「ふれあい交流」が下位3項目となっています。

8. 満足度と重要度の相関

今回、生活環境・行政サービスの満足度と重要度を分析するにあたり、項目ごとの満足度と重要度(加重平均値)の相関関係を明確にするために、加重平均値を偏差値に換算し、横軸を満足度、縦軸を重要度として相関図を作成し、分析することとしました。

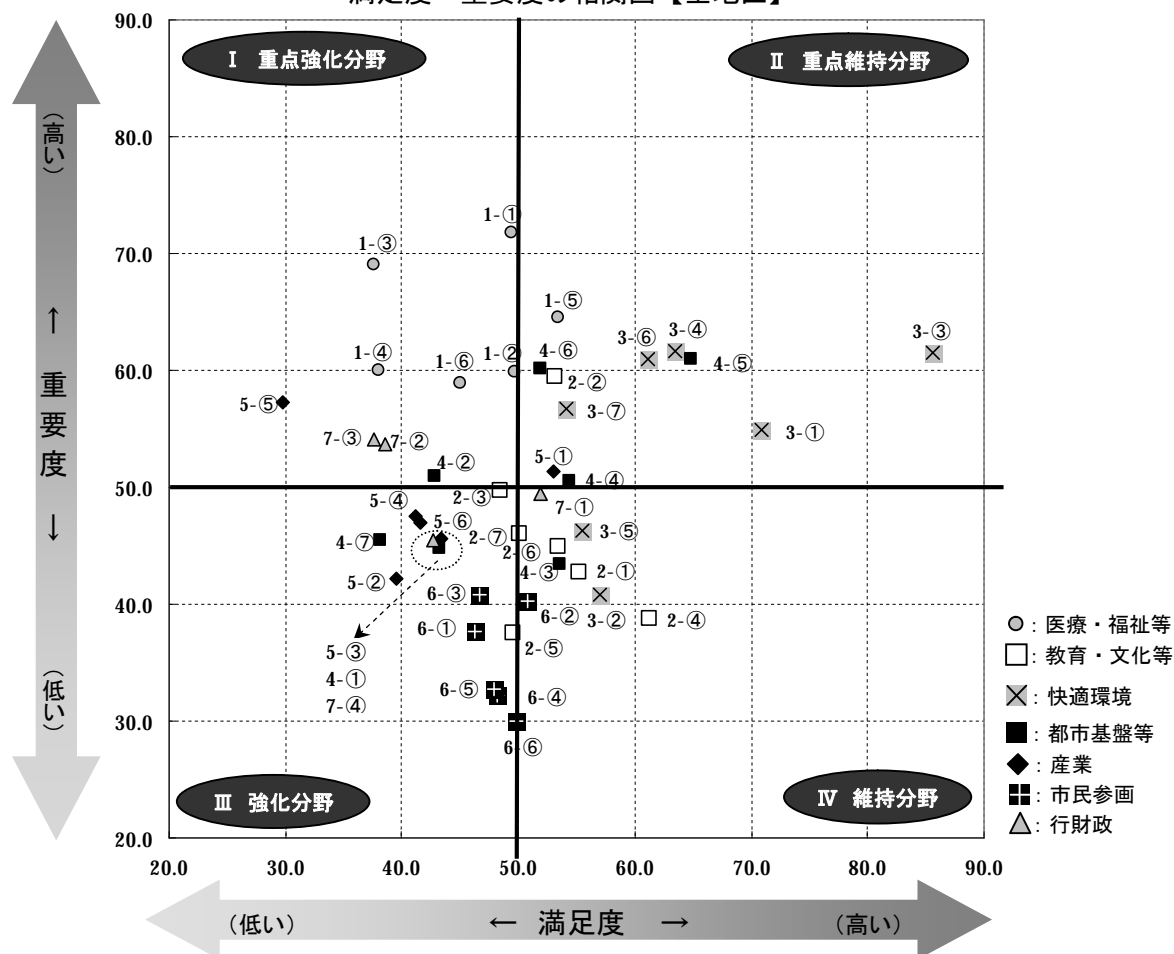
なお、次のように4つの領域に分類しました。

- | | | |
|-----|--------------------|------------|
| I | 満足度が低く、重要度が高い傾向を示す | → 「重点強化分野」 |
| II | 満足度、重要度ともに高い傾向を示す | → 「重点維持分野」 |
| III | 満足度、重要度ともに低い傾向を示す | → 「強化分野」 |
| IV | 満足度が高く、重要度が低い傾向を示す | → 「維持分野」 |



この結果をみると、次頁の相関図に示すように、本市では「保健・医療」、「高齢者福祉」、「地域福祉」、「障がい者福祉」等の保健・医療・福祉分野や「勤労者福祉・雇用対策」、「行政改革の推進」、「自立した財政運営の推進」等が重点強化施策と考えられます。

満足度・重要度の相関図【全地区】



■各項目における満足度・重要度の評価得点の偏差値

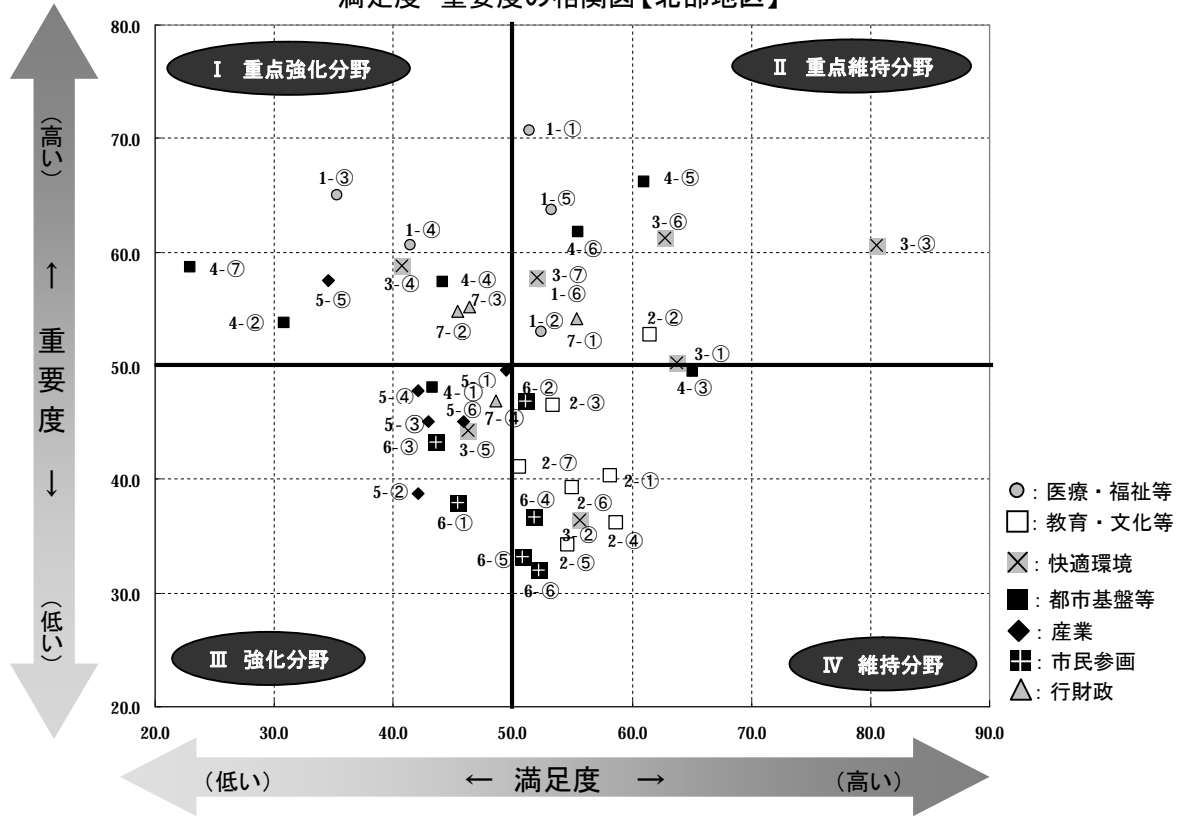
項目		満足度	重要度	項目		満足度	重要度
1 医療・福祉等	① 保健・医療	49.4	71.7	4 都市基盤等	① 土地利用・市街地整備	43.3	44.8
	② 地域福祉	49.7	59.8		② 道路・交通網	42.8	50.9
	③ 高齢者福祉	37.6	69.0		③ 情報通信	53.5	43.5
	④ 障がい者福祉	38.1	60.0		④ 治山・治水・砂防	54.4	50.5
	⑤ 子育て支援	53.4	64.5		⑤ 消防・防災など	64.9	60.9
	⑥ 社会保障	45.0	58.8		⑥ 防犯・交通安全	51.9	60.2
2 教育・文化等	① 生涯学習	55.2	42.8	5 産業	⑦ 辺地対策	38.1	45.5
	② 学校教育・幼児教育	53.1	59.5		① 農林業	52.9	51.3
	③ 青少年の健全育成	48.4	49.8		② 商業	39.6	42.2
	④ スポーツ・レクリエーション	61.3	38.8		③ 工業	43.4	45.6
	⑤ 芸術・文化	49.6	37.6		④ 観光	41.2	47.5
	⑥ 文化財	53.4	45.0		⑤ 勤労者福祉・雇用対策	29.8	57.3
	⑦ 人権意識	50.1	46.1		⑥ 消費者対策	41.5	47.0
3 快適環境	① 自然環境・歴史的景観	70.9	54.9	6 市民参画	① 市民のまちづくり意識	46.3	37.7
	② 住宅	56.9	40.8		② 地域コミュニティ	50.8	40.2
	③ 上水道・水資源	85.6	61.5		③ ボランティア	46.7	40.8
	④ 下水道	63.5	61.6		④ 男女共同参画社会	48.2	32.2
	⑤ 公園・緑地	55.5	46.3		⑤ ふれあい交流	47.9	32.8
	⑥ 資源循環型社会	61.1	61.0		⑥ 岡山県立大学との交流	49.9	30.0
	⑦ 環境保全	54.1	56.8	7 行財政	① 市民参加の推進	51.9	49.5
			② 行政改革の推進		38.6	53.7	
			③ 自立した財政運営の推進		37.6	54.2	
			④ 広域連携の推進		42.7	45.5	

		満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
1 健康・医療・福祉	保健・医療	49.4	71.7	22.3
	地域福祉	49.7	59.8	10.1
	高齢者福祉	37.6	69.0	31.4
	障がい者福祉	38.1	60.0	21.9
	子育て支援	53.4	64.5	11.2
	社会保障	45.0	58.8	13.8
2 教育・文化・スポーツ	生涯学習	55.2	42.8	-12.4
	学校教育・幼児教育	53.1	59.5	6.4
	青少年の健全育成	48.4	49.8	1.4
	スポーツ・レクリエーション	61.3	38.8	-22.4
	芸術・文化	49.6	37.6	-12.0
	文化財	53.4	45.0	-8.4
	人権意識	50.1	46.1	-4.1
3 快適環境	自然環境・歴史的景観	70.9	54.9	-16.0
	住宅	56.9	40.8	-16.1
	上水道・水資源	85.6	61.5	-24.1
	下水道	63.5	61.6	-1.9
	公園・緑地	55.5	46.3	-9.2
	資源循環型社会	61.1	61.0	-0.1
	環境保全	54.1	56.8	2.6
4 都市基盤・安全・安心	土地利用・市街地整備	43.3	44.8	1.5
	道路・交通網	42.8	50.9	8.1
	情報通信	53.5	43.5	-10.1
	治山・治水・砂防	54.4	50.5	-3.9
	消防・防災など	64.9	60.9	-4.0
	防犯・交通安全	51.9	60.2	8.3
	辺地対策	38.1	45.5	7.4
5 産業	農林業	52.9	51.3	-1.6
	商業	39.6	42.2	2.7
	工業	43.4	45.6	2.2
	観光	41.2	47.5	6.3
	勤労者福祉・雇用対策	29.8	57.3	27.5
	消費者対策	41.5	47.0	5.5
6 市民参加	市民のまちづくり意識	46.3	37.7	-8.6
	地域コミュニティ	50.8	40.2	-10.5
	ボランティア	46.7	40.8	-5.9
	男女共同参画社会	48.2	32.2	-16.0
	ふれあい交流	47.9	32.8	-15.1
	岡山県立大学との交流	49.9	30.0	-19.9
7 行財政	市民参加の推進	51.9	49.5	-2.4
	行政改革の推進	38.6	53.7	15.1
	自立した財政運営の推進	37.6	54.2	16.6
	広域連携の推進	42.7	45.5	2.8

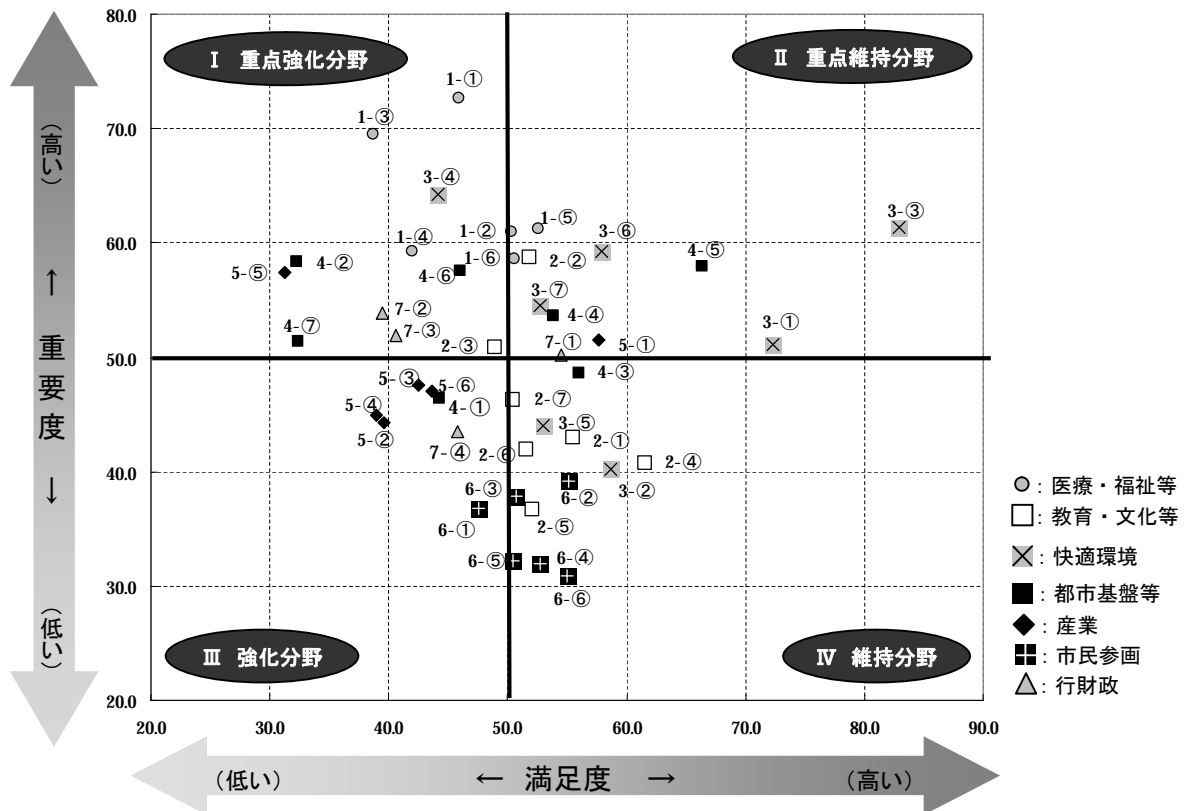
※改善度は、マイナスであればあるほど改善の必要性が低く、プラスであればあるほど改善の必要性が高い。

「満足度偏差値」と「重要度偏差値」の差を『改善度』と位置づけ、各項目の改善度を算出すると、上表に示すようになり、「保健・医療」、「高齢者福祉」、「障がい者福祉」、「勤労者福祉・雇用対策」が、“とりわけ改善が必要”な項目として挙げられ、前ページの分析結果と同様になっています。

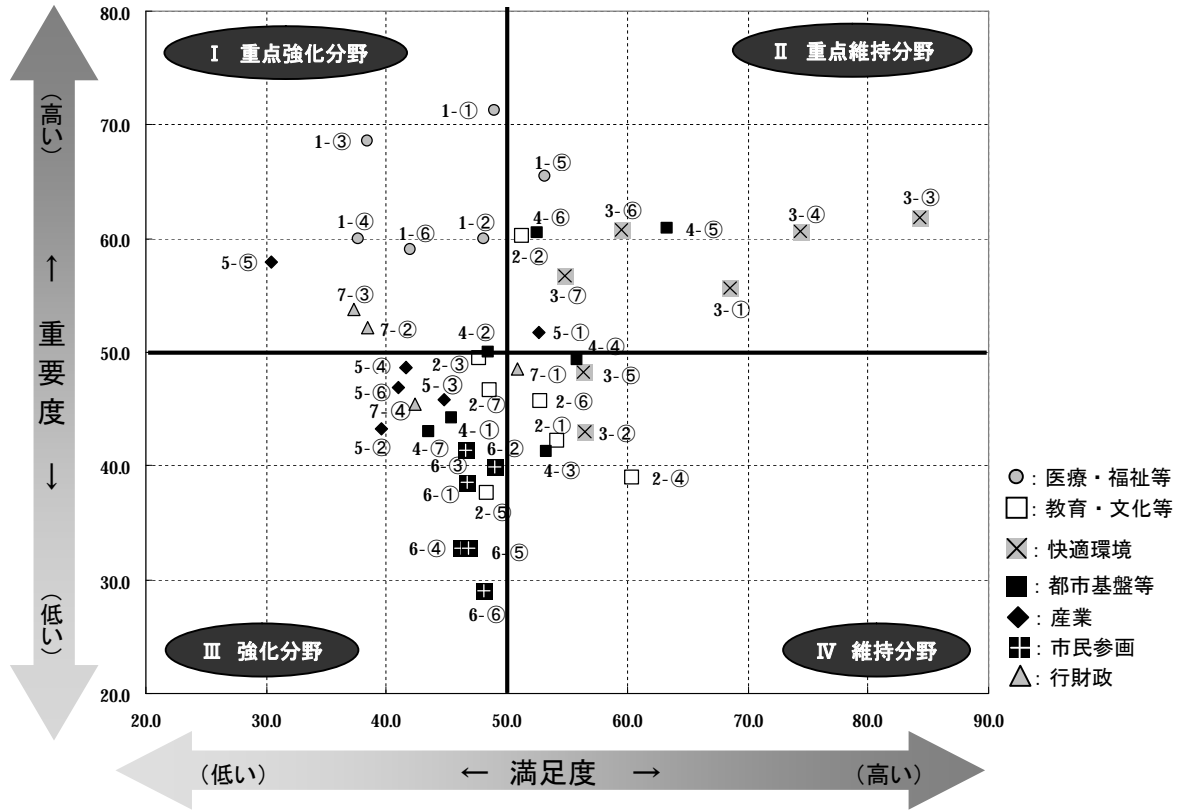
満足度・重要度の相関図【北部地区】



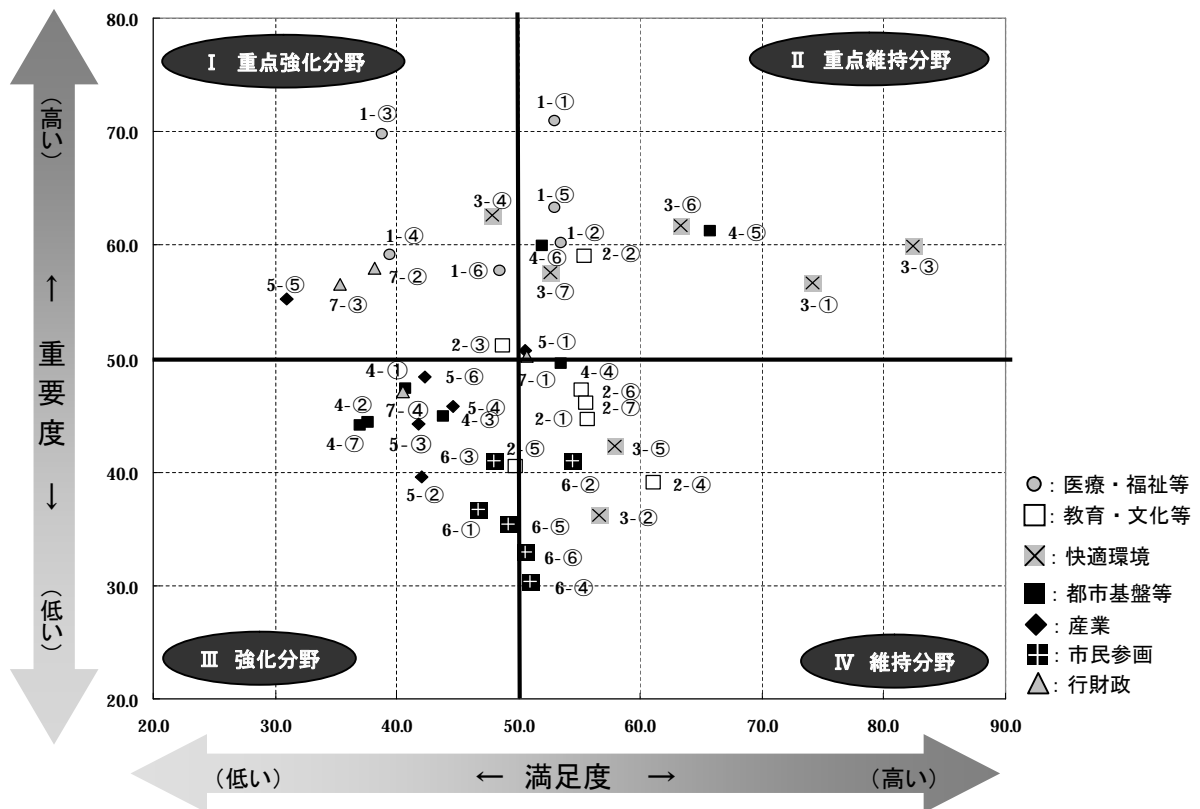
満足度・重要度の相関図【西部地区】



満足度・重要度の相関図【南部地区】



満足度・重要度の相関図【東部地区】



9. 地区別の施策の満足度・重要度分析結果の総括

(1) 満足度

①分野別満足度の比較

満足度を分野別に比較してみると、特に「行財政」、「快適環境」及び「都市基盤等」の分野において地域差が生じている。

地区別にみると「行財政」では東部地区、「快適環境」及び「都市基盤等」では北部地区の満足度が低くなっている。

また、「教育・文化等」、「医療・福祉等」及び「産業」の分野では、地域差が小さい傾向にある。

	東部	西部	南部	北部	最大	最小	差	rank
医療・福祉等	47.7	46.7	44.7	47.7	47.7 (東部)	44.7 (南部)	3.0	6
教育・文化等	54.5	53.1	51.9	56.0	56.0 (北部)	51.9 (南部)	4.1	5
快適環境	62.1	60.2	64.9	57.4	64.9 (南部)	57.4 (北部)	7.5	2
都市基盤等	47.2	47.3	51.8	46.1	51.8 (南部)	46.1 (北部)	5.7	3
産業	42.1	42.2	41.7	42.8	42.8 (北部)	41.7 (南部)	1.1	7
市民参画	49.9	51.9	47.2	49.1	51.9 (西部)	47.2 (南部)	4.7	4
行財政	41.2	45.1	42.2	48.9	48.9 (北部)	41.2 (東部)	7.7	1

②項目別満足度の比較

満足度を項目別に比較してみると、特に「下水道」、「情報通信」及び「辺地対策」の分野において地域差が生じている。

地区別にみると「下水道」及び「辺地対策」では北部地区、「情報通信」では東部地区の満足度が低くなっている。

また、「商業」、「まちづくり意識」及び「子育て支援」の分野では、地域差が小さい傾向にある。

	東部	西部	南部	北部	最大	最小	差	rank
下水道	47.9	44.2	74.4	40.7	74.4 (南部)	40.7 (北部)	33.7	1
情報通信	43.9	56.0	53.3	65.2	65.2 (北部)	43.9 (東部)	21.3	2
辺地対策	37.0	32.4	43.5	22.9	43.5 (南部)	22.9 (北部)	20.6	3
商業	42.1	39.5	39.6	42.0	42.1 (東部)	39.5 (西部)	2.5	41
まちづくり意識	46.7	47.5	46.7	45.4	47.5 (西部)	45.4 (北部)	2.1	42
子育て支援	53.0	52.6	53.2	53.3	53.3 (北部)	52.6 (西部)	0.7	43

(2) 重要度

①分野別重要度の比較

重要度を分野別に比較してみると、特に「都市基盤等」、「教育・文化等」及び「市民参画」の分野において地域差が生じている。

地区別にみると「都市基盤等」及び「市民参画」では北部地区、「教育・文化等」では東部地区の重要度が高くなっている。

また、「快適環境」、「医療・福祉等」及び「産業」の分野では、地域差が小さい傾向にある。

	東部	西部	南部	北部	最大	最小	差	rank
医療・福祉等	63.5	63.7	64.1	61.7	64.1 (南部)	61.7 (北部)	2.3	6
教育・文化等	46.8	45.4	45.8	41.5	46.8 (東部)	41.5 (北部)	5.3	2
快適環境	53.8	53.5	55.3	52.7	55.3 (南部)	52.7 (北部)	2.5	5
都市基盤等	50.2	53.4	49.9	56.5	56.5 (北部)	49.9 (南部)	6.6	1
産業	47.3	48.8	49.1	47.3	49.1 (南部)	47.3 (北部)	1.8	7
市民参画	36.2	34.8	35.7	38.3	38.3 (北部)	34.8 (西部)	3.5	3
行財政	52.9	49.9	49.9	52.7	52.9 (東部)	49.9 (西部)	3.0	4

②項目別重要度の比較

重要度を項目別に比較してみると、特に「辺地対策」、「道路・交通網」及び「消防・防災など」の分野において地域差が生じている。

地区別にみると「辺地対策」及び「消防・防災など」では北部地区、「道路・交通網」では西部地区の重要度が高くなっている。

また、「保健・医療」、「社会保障」及び「障がい者福祉」の分野では、地域差が小さい傾向にある。

	東部	西部	南部	北部	最大	最小	差	rank
辺地対策	44.1	51.4	42.9	58.7	58.7 (北部)	42.9 (南部)	15.7	1
道路・交通網	47.4	58.3	50.0	53.8	58.3 (西部)	47.4 (東部)	11.0	2
消防・防災など	61.2	57.9	60.9	66.2	66.2 (北部)	57.9 (西部)	8.2	3
保健・医療	70.9	72.7	71.3	70.7	72.7 (西部)	70.7 (北部)	1.9	41
社会保障	57.7	58.6	59.1	57.4	59.1 (南部)	57.4 (北部)	1.7	42
障がい者福祉	59.2	59.2	60.0	60.6	60.6 (北部)	59.2 (東部)	1.4	43

(2) 改善度

①分野別改善度の比較

改善度を分野別に比較してみると、特に「都市基盤等」、「教育・文化等」及び「行財政」の分野において地域差が生じている。

地区別にみると「都市基盤等」では北部地区、「行財政」では東部地区の改善度が高くなっている。なお、「教育・文化等」については、いずれの地区も改善度が負の値を示しており、統計的には改善の優先度は低いものと考えられる。

また、「医療・福祉等」、「快適環境」及び「産業」の分野では、地域差が小さい傾向にある。

	東部	西部	南部	北部	最大	最小	差	rank
医療・福祉等	15.8	17.0	19.4	14.0	19.4 (南部)	14.0 (北部)	5.3	5
教育・文化等	-7.7	-7.7	-6.0	-14.5	-6.0 (南部)	-14.5 (北部)	8.5	2
快適環境	-8.3	-6.7	-9.6	-4.6	-4.6 (北部)	-9.6 (南部)	5.0	6
都市基盤等	3.0	6.1	-1.9	10.3	10.3 (北部)	-1.9 (南部)	12.2	1
産業	5.3	6.6	7.4	4.5	7.4 (南部)	4.5 (北部)	2.9	7
市民参画	-13.7	-17.1	-11.5	-10.8	-10.8 (北部)	-17.1 (西部)	6.3	4
行財政	11.7	4.8	7.7	3.8	11.7 (東部)	3.8 (北部)	7.9	3

②項目別改善度の比較

改善度を項目別に比較してみると、特に「辺地対策」、「下水道」及び「道路・交通網」の分野において地域差が生じている。

地区別にみると「辺地対策」では北部地区、「下水道」及び「道路・交通網」では西部地区の改善度が高くなっている。

また、「上下水道・水資源」、「スポーツ・レクリエーション」及び「高齢者福祉」の分野では、地域差が小さい傾向にある。

	東部	西部	南部	北部	最大	最小	差	rank
辺地対策	7.1	19.0	-0.6	35.8	35.8 (北部)	-0.6 (南部)	36.4	1
下水道	14.8	20.1	-13.7	18.0	20.1 (西部)	-13.7 (南部)	33.8	2
道路・交通網	6.6	26.1	1.5	22.9	26.1 (西部)	1.5 (南部)	24.6	3
上水道・水資源	-22.4	-21.6	-22.4	-19.9	-19.9 (北部)	-22.4 (東部)	2.6	41
スポーツ・レクリエーション	-22.1	-20.9	-21.3	-22.6	-20.9 (西部)	-22.6 (北部)	1.7	42
高齢者福祉	30.9	30.8	30.2	29.7	30.9 (東部)	29.7 (北部)	1.2	43

Ⅲ アンケート結果概要【中学生用】

1. 回答者の属性

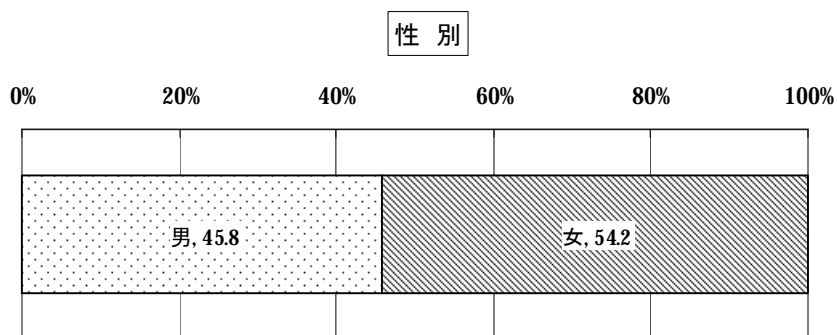
(1) 中学校別回答者数

中学校別の回答者数は、「総社東中学校」245人、「総社西中学校」196人、「総社中学校」94人、「昭和中学校」31人で、合わせて566人となっています。

回答項目	回答数	構成比(%)
総社東中学校	245	43.3
総社西中学校	196	34.6
総社中学校	94	16.6
昭和中学校	31	5.5
合計	566	100.0

(2) 性別

回答者の性別は、「男」45.8%、「女」54.2%となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)
男	259	45.8
女	307	54.2
合計	566	100.0

(3) 居住地

回答者の居住地の構成は下表に示すようになっており、「総社地区」が全体の39.0%を占めています。

回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた 構成比(%)
総社地区	221	39.0	39.1
常盤地区	76	13.4	13.5
三須地区	18	3.2	3.2
服部地区	20	3.5	3.5
阿曾地区	19	3.4	3.4
池田地区	7	1.2	1.2
秦地区	19	3.4	3.4
神在地区	23	4.1	4.1
久代地区	26	4.6	4.6
山田地区	7	1.2	1.2
新本地区	18	3.2	3.2
昭和地区	33	5.8	5.8
山手地区	31	5.5	5.5
清音地区	45	8.0	8.0
その他	2	0.4	0.4
無回答	1	0.2	
合計	566	100.0	565

2. 総社市のことについて

(1) 総社市が好きか

総社市のことについては、「好き」が**36.0%**、「嫌い」が**4.9%**、「どちらともいえない」が**44.5%**となっています。

		好き	嫌い	どちらともいえない
全体		36.0%	4.9%	44.5%
男女別	男	35.1%	4.2%	47.5%
	女	36.8%	5.5%	42.0%
学校別	総社東中学校	35.5%	5.7%	43.7%
	総社西中学校	37.2%	6.1%	43.9%
	総社中学校	39.4%	0.0%	45.7%
	昭和中学校	22.6%	6.5%	51.6%

(2) 総社市の住みよさ

総社市の住みよさについては、「住みよい」が**36.7%**、「まあ住みよい」が**44.9%**で、合わせて**81.6%**がおおむね住みよいと実感していることがうかがえます。

		住みよいと感じている割合		
		住みよい	まあ住みよい	
全体		36.7%	44.9%	81.6%
男女別	男	39.8%	42.9%	82.7%
	女	34.2%	46.6%	80.8%
学校別	総社東中学校	37.1%	44.5%	81.6%
	総社西中学校	39.8%	44.4%	84.2%
	総社中学校	34.0%	47.9%	81.9%
	昭和中学校	22.6%	41.9%	64.5%

(3) 居住意向

居住意向については、「わからない」が53.9%と過半数を占めており、「住みたい」は26.7%、「住みたくない」は19.3%となっています。

		住みたい	住みたくない	わからない
全体		26.7%	19.3%	53.9%
男女別	男	27.8%	17.4%	54.4%
	女	25.7%	20.8%	53.4%
学校別	総社東中学校	27.3%	22.0%	50.2%
	総社西中学校	27.6%	16.3%	56.1%
	総社中学校	24.5%	20.2%	55.3%
	昭和中学校	22.6%	12.9%	64.5%

(4) 総社市の自慢できるもの

総社市の自慢できるものの第1位は、「れんげまつり・れとろード・雪舟フェスタなどのイベント」となっています。

1位	れんげまつり・れとろード・雪舟フェスタなどのイベント
2位	備中国分寺や鬼ノ城に代表されるような歴史遺産
3位	瀬戸内海特有の晴天に恵まれた気候・風土

3. 日常の暮らしの満足度

日常の暮らしの満足度の上位項目と下位項目は下表に示すとおりであり、満足度の第1位は「学校での友だちとのつきあい」となっています。

満足度の高い項目		満足度の低い項目	
1位	学校での友だちとのつきあい	1位	買い物の便利さ
2位	食の安全・安心	2位	鉄道やバスの利用しやすさ
3位	自宅での自由時間	3位	ごみの分別収集やリサイクルの取組み

4. 「子ども条例」の認知度

「子ども条例」の認知度については、「よく知っている」が2.7%、「ある程度知っている」が5.8%で、合わせて8.5%がおおむね知っていることとなり、認知度は低い傾向にあります。

		知っている割合		
		よく知っている	ある程度知っている	
全体		2.7%	5.8%	8.5%
男女別	男	3.1%	6.6%	9.7%
	女	2.3%	5.2%	7.5%
学校別	総社東中学校	2.4%	4.5%	6.9%
	総社西中学校	2.6%	4.6%	7.2%
	総社中学校	4.3%	11.7%	16.0%
	昭和中学校	0.0%	6.5%	6.5%

5. 優先的に整備・増設してほしい施設

優先的に整備・増設してほしい施設の第1位は、「大型のショッピングセンター」、第2位は「さまざまな店舗がそろった商店街」となっており、商業施設の整備充実が望まれています。

1位	大型のショッピングセンター
2位	さまざまな店舗がそろった商店街
3位	スポーツ施設

Ⅲ アンケート結果概要【高校生用】

1. 回答者の属性

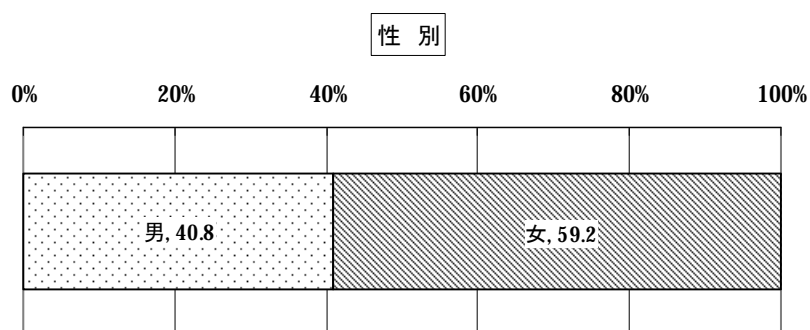
(1) 高校別回答者数

高校別の回答者数は、「総社高校」249人、「総社南高校」254人で、合わせて503人となっています。

回答項目	回答数	構成比(%)
総社高校	249	49.5
総社南高校	254	50.5
合計	503	100.0

(2) 性別

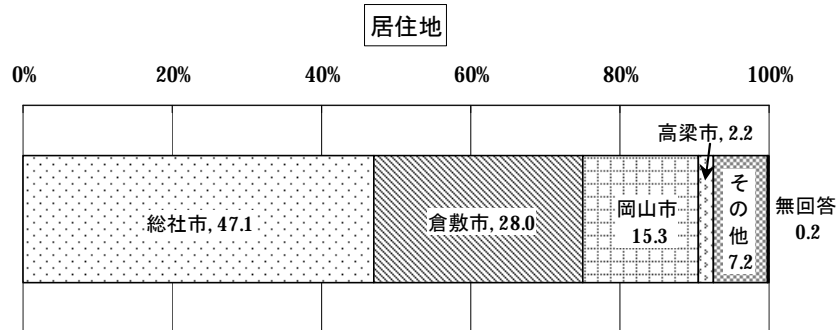
回答者の性別は、「男」40.8%、「女」59.2%となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)
男	205	40.8
女	298	59.2
合計	503	100.0

(3) 居住地

回答者の居住地の構成は、「総社市」47.1%、「倉敷市」28.0%、「岡山市」15.3%等となっています。



回答項目	回答数	構成比 (%)	無回答を除いた構成比 (%)
総社市	237	47.1	47.2
倉敷市	141	28.0	28.1
岡山市	77	15.3	15.3
高梁市	11	2.2	2.2
その他	36	7.2	7.2
無回答	1	0.2	
合計	503	100.0	502



その他の居住地	人数(人)
井原市	5
吉備中央町	5
矢掛町	5
新見市	4
早島町	4
浅口市	3
井笠地区	2
笠岡市	1
瀬戸内市	1
里庄町	1
備前市	1
無回答	4
合計	36

また、総社市内の居住者の詳細な地区は、下表に示すとおりです。

回答項目	回答数	構成比(%)
総社地区	116	48.9
常盤地区	22	9.3
清音地区	20	8.4
久代地区	14	5.9
阿曾地区	12	5.1
山手地区	12	5.1
秦地区	9	3.8
三須地区	8	3.4
神在地区	7	3.0
服部地区	6	2.5
昭和地区	5	2.1
池田地区	2	0.8
山田地区	2	0.8
新本地区	2	0.8
合計	237	100.0

2. 総社市のことについて

(1) 総社市が好きか

総社市のことについては、「好き」が33.0%となっていますが、総社市居住者のみにおいては47.3%と、半数近くが「好き」と回答しています。

		好き	嫌い	どちらともいえない
全 体		33.0%	6.2%	49.7%
居住 地別	総社市	47.3%	5.1%	40.1%
	岡山市	16.9%	6.5%	59.7%
	倉敷市	19.9%	7.1%	58.9%
	高梁市	27.3%	27.3%	45.5%
	その他	27.8%	0%	58.3%

(2) 総社市の住みよさ

総社市の住みよさについては、「住みよい」が19.5%、「まあ住みよい」が45.7%で、合わせて65.2%がおおむね住みよいと実感していることがうかがえます。

また、総社市居住者のみにおいては、約8割がおおむね住みよいと実感しており、住みよさの実感度も最も高くなっています。

				住みよいと感 じている割合	住みよさの 実感度
		住みよい	まあ住みよい		
全 体		19.5%	45.7%	65.2%	4.26
居 住 地 別	総社市	30.8%	51.1%	81.9%	5.33
	岡山市	6.5%	39.0%	45.5%	2.73
	倉敷市	10.6%	39.7%	50.3%	2.92
	高梁市	0.0%	36.4%	36.4%	0.63
	その他	11.1%	52.8%	63.9%	4.31

(3) 居留意向

居留意向については、「わからない」が54.1%と過半数を占めており、「住みたい」との回答は約1割にとどまっています。

また、総社市居住者のみにおいては、「住みたい」が21%と居留意向がやや高くなっています。

		住みたい	住みたくない	わからない
全 体		11.9%	33.0%	54.1%
居 住 地 別	総社市	21.1%	20.3%	57.8%
	岡山市	3.9%	44.2%	49.4%
	倉敷市	2.8%	46.8%	50.4%
	高梁市	0.0%	54.5%	45.5%
	その他	8.3%	30.6%	58.3%

(4) 総社市の自慢できるもの

総社市の自慢できるものの第1位は、「備中国分寺や鬼ノ城に代表されるような歴史遺産」となっています。

1位	備中国分寺や鬼ノ城に代表されるような歴史遺産
2位	きびじアリーナなどのスポーツ施設の充実
3位	川や田園風景などの豊かな自然

3. 日常の暮らしの満足度

日常の暮らしの満足度の上位項目と下位項目は下表に示すとおりであり、満足度の第1位は「学校での友だちとのつきあい」となっています。

	満足度の高い項目		満足度の低い項目
1位	学校での友だちとのつきあい	1位	鉄道やバスの利用しやすさ
2位	食の安全・安心	2位	買い物の便利さ
3位	周辺景観・憩いの場の創出による快適さ	3位	病院などの利用しやすさ

4. 総社市の将来都市像

総社市の将来都市像の第1位は「商業都市」となっていますが、総社市居住者のみにおいては、「福祉都市」が第1位となっています。

	全 体		総社市居住者のみ
1位	商業都市	1位	福祉都市
2位	環境都市	2位	商業都市
3位	福祉都市	3位	環境都市

5. 優先的に整備・増設してほしい施設

優先的に整備・増設してほしい施設の第1位は、「大型のショッピングセンター」、第2位は「さまざまな店舗がそろった商店街」となっており、商業施設の整備充実が望まれています。

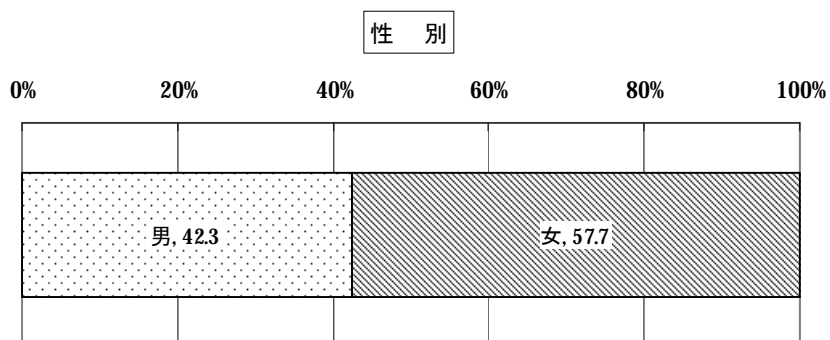
1位	大型のショッピングセンター
2位	さまざまな店舗がそろった商店街
3位	子ども、高齢者や障がい者のための福祉施設

|||| アンケート結果概要【県立大学生用】

1. 回答者の属性

(1) 性別

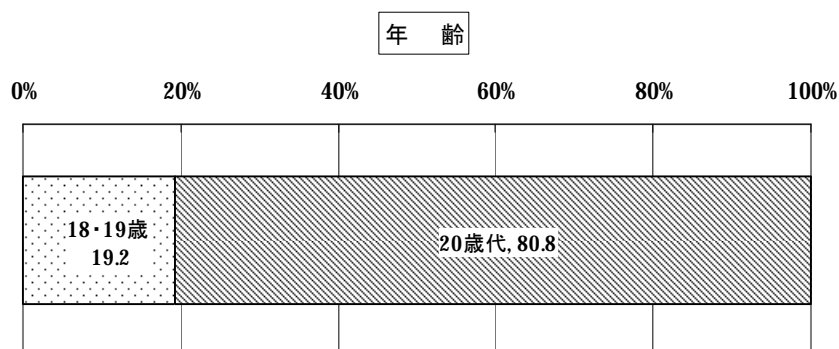
回答者の性別は、「男性」11人（42.3%）、「女性」15人（57.7%）となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた構成比(%)
男	11	42.3	42.3
女	15	57.7	57.7
合計	26	100.0	26

(2) 年齢

回答者の年齢は、「18・19歳」が5人（19.2%）、「20歳代」が21人（80.8%）となっています。

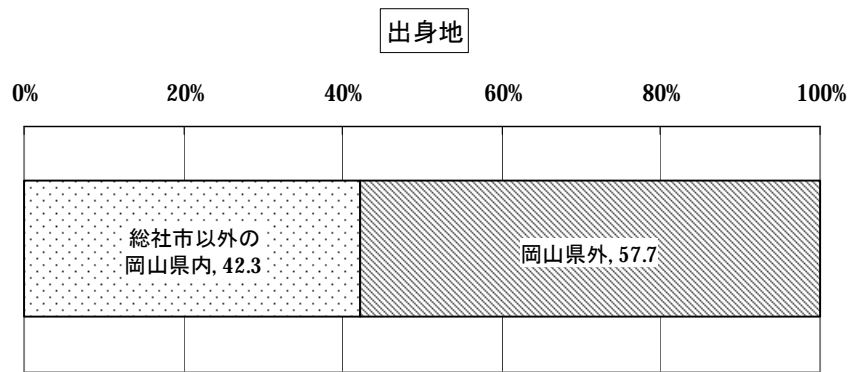


回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた構成比(%)
18・19歳	5	19.2	19.2
20歳代	21	80.8	80.8
合計	26	100.0	26

(3) 出身地

回答者の出身地は、「総社市以外の岡山県内」が11人(42.3%)、「岡山県外」が15人(57.7%)となっています。

また、それぞれの居住地、出身地は下表のとおりです。



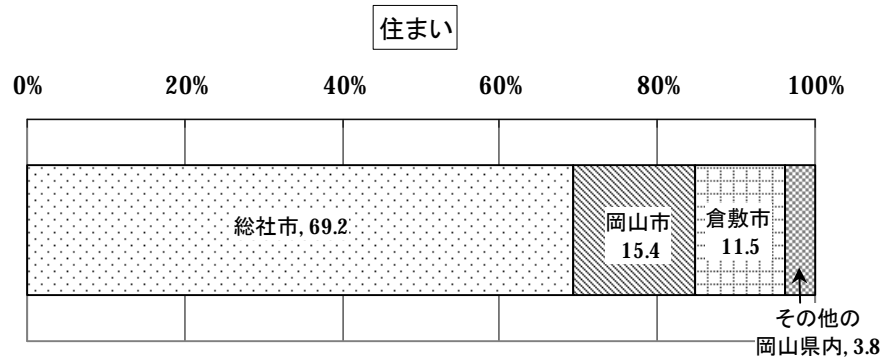
回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた構成比(%)
総社市	0	0.0	0.0
総社市以外の岡山県内	11	42.3	42.3
岡山県外	15	57.7	57.7
合計	26	100.0	26

出身市町村名	人数(人)
岡山市	4
倉敷市	4
笠岡市	1
新見市	1
吉備中央町	1
合計	11

出身都道府県名	人数(人)
大阪府	3
大分県	2
広島県	2
愛媛県	2
北海道	1
長野県	1
静岡県	1
兵庫県	1
佐賀県	1
香川県	1
合計	15

(4) 住まい

回答者の現在の住まいは、「総社市」が18人(69.2%)を占め最も多く、次いで「岡山市」の4人(15.4%)、「倉敷市」の3人(11.5%)となっています。



回答項目	回答数	構成比(%)	無回答を除いた 構成比(%)
総社市	18	69.2	69.2
岡山市	4	15.4	15.4
倉敷市	3	11.5	11.5
高梁市	0	0.0	0.0
その他岡山県内	1	3.8	3.8
岡山県外	0	0.0	0.0
合計	26	100.0	26

2. 総社市について

(1) 総社市への愛着

総社市への愛着については、26人中、19人（約7割）が“おおむね愛着を感じている”という結果になっています。

(2) 総社市の住みよさ

総社市の住みよさについては、26人中、18人（約7割）が“おおむね住みよい”と実感している結果になっています。

(3) 定住意向

定住意向については、「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた回答者数は12人（4割強）で、愛着度や住みよさの実感度に比べてやや少なくなっています。

3. 市政について

(1) 市政への関心

市政への関心については、「関心がある」と「関心がない」に二分しています。

(2) 総社市の将来都市像

総社市の将来都市像については、「学園都市」が9人で最も多く、次いで「福祉都市」が7人、「芸術文化都市」と「歴史都市」が各6人という結果になっています。

(3) 市政への市民の意見の反映

市政への市民の意見の反映については、「わからない」と「どちらともいえない」を合わせた割合が9割近くを占めています。

4. 総社市が進めている主な事業について

総社市が進めている主な事業についての認知度や満足度、利用意向等については、以下に示すとおりです。

●子育て王国そうじゃ

認知度については、26人中10人が「聞いたことがある」、9人が「まったく知らない」と回答しており、認知度はやや低い状況にあります。

満足度については、「わからない」が10人を占めています。

●夜間急病診療

認知度については、26人中17人が「まったく知らない」と回答しており、知っている人においても、利用意向については「わからない」、「利用しない」という回答が多くを占めています。

●救急安心カード

「救急安心カード」の所有については、26人中「ある」が3人、「ない」が13人、「わからない」が10人となっています。

●住宅用火災警報器

「住宅用火災警報器」の設置状況は、26人中「設置している」が10人、「一部設置している」が2人、「設置していない」が8人、「わからない」が6人となっています。

5. 生活環境や行政サービスの満足度・重要度について

(1) 生活環境や行政サービスの満足度について

満足度の高い項目と低い項目は、下表に示すとおりであり、満足度の第1位は「上水道・水資源」となっています。

	満足度の高い項目		満足度の低い項目
1位	上水道・水資源	1位	道路・交通網
2位	自然環境・歴史的景観	2位	資源循環型社会
3位	公園・緑地	3位	土地利用・市街地整備
4位	住宅		辺地対策
5位	下水道	4位	岡山県立大学との交流

(2) 生活環境や行政サービスの今後の重要度について

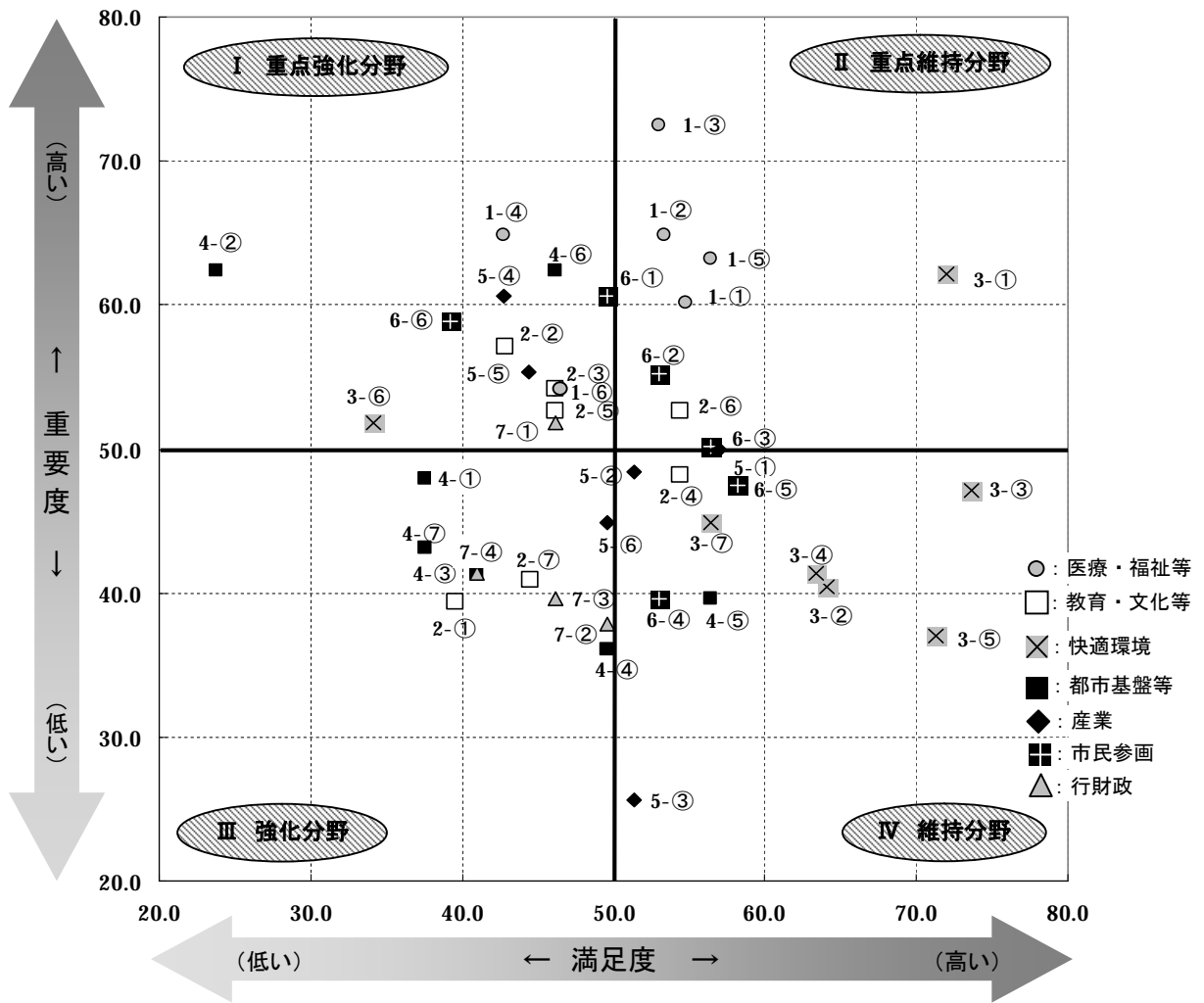
今後の重要度の高い項目と低い項目は、下表に示すとおりであり、重要度の第1位は「高齢者福祉」となっています。

	重要度の高い項目		重要度の低い項目
1位	高齢者福祉	1位	工業
2位	地域福祉	2位	治山・治水・砂防
	障がい者福祉	3位	公園・緑地
3位	子育て支援	4位	行政改革の推進
4位	道路・交通網	5位	生涯学習
	防犯・交通安全		

(3) 重点強化施策

満足度と重要度の相関関係から、県立大学生においては「道路・交通網」、「障がい者福祉」、「岡山県立大学との交流」、「資源循環型社会」、「観光」、「防犯・交通安全」等が重点強化施策と考えられます。

満足度・重要度の相関図



		満足度偏差値	重要度偏差値	改善度
1 健康・医療・福祉	保健・医療	54.8	60.2	5.4
	地域福祉	53.3	64.8	11.5
	高齢者福祉	53.0	72.5	19.4
	障がい者福祉	42.7	64.8	22.1
	子育て支援	56.5	63.3	6.8
	社会保障	46.2	54.0	7.9
	2 教育・文化・スポーツ	生涯学習	39.5	39.4
学校教育・幼児教育		42.9	57.1	14.3
青少年の健全育成		46.2	54.2	8.0
スポーツ・レクリエーション		54.4	48.2	-6.2
芸術・文化		46.2	52.7	6.5
文化財		54.4	52.7	-1.7
人権意識		44.5	40.8	-3.7
3 快適環境		自然環境・歴史的景観	72.0	62.1
	住宅	64.1	40.4	-23.7
	上水道・水資源	73.7	47.1	-26.6
	下水道	63.4	41.4	-22.0
	公園・緑地	71.3	37.0	-34.3
	資源循環型社会	34.1	51.9	17.8
	環境保全	56.5	44.9	-11.6
4 都市基盤、安全・安心	土地利用・市街地整備	37.6	48.0	10.4
	道路・交通網	23.8	62.4	38.6
	情報通信	41.0	41.4	0.4
	治山・治水・砂防	49.6	36.1	-13.5
	消防・防災など	56.5	39.6	-16.8
	防犯・交通安全	46.2	62.4	16.2
	辺地対策	37.6	43.1	5.6
	5 産業	農林業	56.5	50.1
商業		51.3	48.4	-2.9
工業		51.3	25.7	-25.7
観光		42.7	60.6	17.9
勤労者福祉・雇用対策		44.4	55.4	10.9
消費者対策		49.6	44.9	-4.7
6 市民参加	市民のまちづくり意識	49.6	60.6	11.0
	地域コミュニティ	53.0	55.3	2.2
	ボランティア	56.5	50.1	-6.4
	男女共同参画社会	53.0	39.6	-13.4
	ふれあい交流	58.2	47.5	-10.7
	岡山県立大学との交流	39.3	58.9	19.6
7 行財政	市民参加の推進	46.2	51.9	5.7
	行政改革の推進	49.6	37.9	-11.7
	自立した財政運営の推進	46.2	39.6	-6.5
	広域連携の推進	41.0	41.4	0.4